

# 北海道議会時報

平成2年第2回定例会



北海道議会事務局

北海道議会時報第42巻第2号(平成元年第2回定例会)

(表紙写真説明)

### 道立「道民の森」(当別町・月形町)

「道民の森」は、昭和60年の国際森林年及び戦後40年を記念した事業として発足し、石狩管内当別町と空知管内月形町にまたがる約1万1千<sup>㊦</sup>の道有林を活用して、森林におけるレクリエーション、スポーツ、教育、文化など森林の総合的利用に必要な施設を整備するもので、「森につどう」「森に遊ぶ」「森に学ぶ」をテーマとして、自然環境に合わせ5地区に分かれる森林体験ゾーンである。

昭和63年度に着工、平成4年完成予定であるが、平成2年9月24日に一部オープン(神居尻地区)、野外ステージで開園式が行われた。

(道林務部 提供)



## 平田市郎議員逝去

議員平田市郎氏（民政クラブ、深川市選出）は、4月12日午前5時40分、急性心筋梗塞のため、市立旭川病院において逝去され、4月14日、深川市民会館において、告別式が執り行われた。

享年59歳。

なお、6月29日第2回定例会本会議において、大野新生議員（自民、空知支庁選出）から、追悼演説が行われ、次いで、全員起立のうえ黙祷がさげられた。

### 追 悼 演 説

私は、今、この本会議場において、よもや平田市郎先生の追悼の言葉を述べようとは夢にも思っていませんでした。余りにも突然で、いまだにあなたの御逝去が信じられない思いであります。

ここに、あなたの面影をしのびながら、北海道議会を代表して、謹んで追悼の言葉をさげます。

あなたは、以前から心臓の調子が悪いと訴えておられ、昨年、手術を行い成功されたと伺っておりましたが、本年に入ってから再び変調を来し、第1回定例会終了を待って入院し、治療に専念する決意をなされたのでありますが、去る4月11日の手術後、突如として容態が急変し、御家族や近親者の皆様方の献身的な看護のいかにもなく、再び帰らぬ黄泉の旅に立たれましたことは、まことに惜しみても余りあるものでございます。

御遺族の方々の胸中に思いをいたすとき、涙落つるを禁じ得ないものであります。

私は、あなたの地元である深川市農業協同組合組合長田島源一郎氏にお伺いしますと、あなたは日ごろから健康管理には人一倍気をつけられ、食生活等には養生を旨とされ、健康には歩くことが第一として、率先その範を示しておられたとお聞きしております。

また、あなたは、根っからの農業人として、戦後には、青年団活動、農業税務事務を初め、18年間の長きにわたって深川市農業協同組合の運営に携わられ、数多くの公職も、持ち前のバイタリティーで何なく務められ、深川市民にとりましては、なくてはならないお方であったと聞かされております。このたびの悲報は、返す返すも残念でなりません。

温厚篤実、常にみずから行動して、他を動かす実行力が地域住民の心を動かし、期待と衆望を担い道議会議員に選ばれ、これからそのすぐれた政治手腕をさらに発揮していただけるやさきの出来事で、世の無常が余りにも無念であります。まことに痛惜のきわみでございます。

あなたは、昭和5年、深川市にお生まれになり、みずから農業を営む傍ら、深川市農業委員会委員、深川市農業協同組合組合長代理など多くの要職を歴任され、本道農業の振興に献身されました。その後、昭和50年6月、市民の期待を担って深川市議会議員に当選され、以来、3期12年にわたり在職し、市政の発展に御活躍されたのであります。

この間、同僚議員の推挙により、昭和58年6月から昭和62年3月までの3年9カ月の

間、深川市議会議長の重職に就任され、農業の振興、社会福祉施設等の整備充実に心血を注がれ、さらに、全国広域市町村圏指定都市議会副議長、深川地区消防組合議会議長などを歴任され、深川市の発展と市民生活の向上に尽くされた御功績は、市政の上にさん然と輝いております。

その後、あなたは、天賦のすぐれた知性と先見性、洞察力に加え、温厚誠実にして清廉潔白なるお人柄は、長ずるに及んできますます精彩を放ち、地元有志の方々を初め多くの方々の推薦により、昭和62年4月、北海道議会議員に見事当選され、3年にわたる道議会における御活躍は枚挙にいとまがありません。

この間、前期においては、商工労働観光委員会の委員として御活躍をされ、雇用対策の強化、観光振興等に大きく貢献されました。

後期においては、農政委員会副委員長としての重責を担うとともに、あなたは、農業問題に関して豊富な知識とすぐれた識見をお持ちになり、本会議における代表質問や一般質問の質疑を通じ、常に本道の農業振興にかかわる問題を提起し、そして、その解決策を迫り、前向きな答弁を引き出して、みずからもその推進に奔走されてまいりました。

さらには、国民体育大会推進特別委員会委員、交通安全対策特別委員会委員として、「はまなす国体」の成功等に多くの功績を残されました。

また、あなたは、民政クラブの政策審議委員長として、政策の立案など、専心、道政進展のために精力的に会派の難題に取り組み挺身されましたことは、私ども、ひとしく敬服してやまないところであります。

加えて、道議会議員として、地元が抱える諸問題の解決に当たり、地元住民の信頼にこたえられるとともに、空知管内の発展のため努力を重ねられたのであります。

温厚なお人柄をもって遺憾なくその手腕を振り、真に民意を代表した議会人として道政の推進に縦横の御活躍をされたのであります。地域の発展にあなたの残された顕著な御功績は、全道民のつとに知るところでございます。

先生は、昨年の第4回定例会の代表質問において、道政における最重要課題である農政問題を初め、本道の発展をリードする戦略プロジェクトの国際エアカーゴ基地構想、リニアモーターカー等の推進について強い関心を持たれ、熱っぽく質問されたお姿がきのうのことのように思い出されます。今にして思えば、あのときの質問がこの壇上から発言された最後のお姿になったのであります。

このような地方自治発展のためにささげられた輝かしい御功績に対し、このたび従六位勲五等瑞宝章を受章されたのであります。

あなたが道政発展のためにささげられたとうとい精神と御功績は、とこしえに道政史上にとどめられるものと存じます。

本道は、今、道政の各般にわたり多くの課題を抱え、重要な時期に直面しておりますだけに、あなたの御活躍に期待するところ、まことに多かったのであります。

今定例会には元気なお姿に接するものと信じておりましたのに、余りにも早い旅立ちでありました。

天、もし長寿を与えしならば、道政発展のために一層のお力添えをいただけたであらうでしょう。まことに残念でなりません。

あなたの温容に満ちたお人柄は、今ほうふつとして眼前によみがえり、追慕と哀惜の情、まことに切なるものがございます。

平田市郎先生、今あなたは天上から、あなたがお生まれ、お育ちになったふるさと深川市を温かく見守られ、そして、北海道の躍動する未来に思いをはせておられるでしょう。

私どもは、道政発展のため献身された先生のとうとい信念を継承し、及ばずながらも21世紀にふさわしい北海道をつくる決意をさらに固め、ここにお誓い申し上げます。

今は、ただ、心からみたまの御冥福をお祈り申し上げ、奥様を初め、御家族様の前途に限りない御加護を賜りますようお願いし、お別れの言葉といたします。

平田先生、どうぞ安らかにお眠りください。

平成2年6月29日

北海道議会議員 大野 新生

## 第 2 回 定 例 会

概 要	1
本 会 議	3
提 出 案 件	14
決 議 案	18
意 見 案	19
請 願・陳 情	23

## 委 員 会 の 動 き

議会運営委員会	28
常 任 委 員 会	33
特 別 委 員 会	46
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
エネルギー問題調査特別委員会	
交通安全対策特別委員会	
予算特別委員会	

## 会 合

全国都道府県議会議長会	56
都道府県議会議員共済会	57
10都道府県議会議長会	57
北海道・東北6県議会議長会	57

## 資 料

第2回定例会において議決を経た 条例の公布調	59
北海道議会議員補欠選挙 結果（深川市）	59

## 4・5・6・7月のメモ

# 議 会 日 誌

## ▶ 4 月

3 日 (火) 各常任、交通安全対策特別各委員会

4 日 (水) }  
5 日 (木) } 北海道新長期総合計画問題調査特別委員会

20 日 (金) 決算特別委員会

24 日 (火) }  
25 日 (水) }  
26 日 (木) } 決算特別委員会

## ▶ 5 月

8 日 (火) 各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、交通安全対策特別各委員会

9 日 (水) }  
10 日 (木) }  
11 日 (金) } 決算特別委員会

16 日 (水) }  
17 日 (木) } 決算特別委員会

21 日 (月) 総合開発調査特別委員会

28 日 (月) }  
29 日 (火) }  
30 日 (水) } 北海道新長期総合計画問題調査特別委員会

## ▶ 6 月

5 日 (火) 各常任委員会

11 日 (月) }  
12 日 (火) } 北海道新長期総合計画問題調査特別委員会

21 日 (木) 議会運営委員会

25 日 (月) 決算特別委員会

28 日 (木) 議会運営、各常任、石炭対策特別、北方領土対策特別、交通安全対策特別各委員会

29 日 (金) **(第 2 回定例会開会)**  
議会運営、農政各委員会  
**本会議** (議席の一部変更並びに補欠当選議員の議席指定、追悼演説、会期決

定<20日間>、常任委員の委員会所属変更、補欠当選議員の常任委員選任、特別委員補欠選任、提案説明、意見案 2 件可決及び 1 件否決)

## ▶ 7 月

4 日 (水) 議会運営委員会  
**本会議** (代表質問<2人>)

5 日 (木) 議会運営委員会  
**本会議** (日程延期)

6 日 (金) 議会運営、商工労働観光各委員会  
**本会議** (代表質問<2人>)

9 日 (月) 議会運営、総務各委員会  
**本会議** (代表質問<1人>)

10 日 (火) 議会運営委員会  
**本会議** (追加提案説明、一般質問<4人>)

11 日 (水) 議会運営委員会  
**本会議** (一般質問<4人>)

12 日 (木) 議会運営委員会  
**本会議** (一般質問<1人>)

13 日 (金) 議会運営委員会  
**本会議** (一般質問<3人>、予算及び企業会計決算特別各委員会設置)

予算特別委員会 (正副委員長の互選、予算第 1・第 2 各分科会設置)  
予算第 1・第 2 各分科会 (正副委員長の互選)

企業会計 決算特別委員会 (正副委員長の互選)

16 日 (月) }  
17 日 (火) } 予算第 1・第 2 各分科会 (各部所管審査)

18 日 (水) 議会運営、北海道新長期総合計画問題調査特別各委員会

予算第 1・第 2 各分科会 (各部所管審査)

**本会議** (会期延長<1日間>)

19 日 (木) 議会運営委員会

**本会議** (会期延長<1日間>)

予算第1・第2各分科会（各部所  
管審査）

予算特別委員会（討論、意見調整）

20日（金） 議会運営、各常任、エネルギー問  
題調査特別、企業会計決算特別、  
決算特別各委員会

**本会議**（各委員長報告、議案等可決、  
追加提案説明、教育委員会 委員・公安  
委員会 委員・方面公安委員会 委員選任  
同意、決議案1件可決及び1件否決、  
意見案3件可決、請願審査、前会より  
継続審査の決議案第6号及び意見案第  
5号の閉会中継続審査の決定、報告第46  
号ないし第51号及び前会より継続審査中  
の報告第3号の閉会中継続審査の決定）

**（第2回定例会閉会）**

21日（土） 議会運営、各常任、総合開発調査  
特別、石炭対策特別、北方領土対  
策特別各委員会

## 第2回定例会

### 貯蔵工学センターの設置に反対する決議案等可決

#### ▶ 道民の森設置、道立和光学園・松前病院廃止条例案可決 ◀

#### 概 要

① 平成2年度補正予算案等を審議する第2回定例会は、6月29日招集され、補欠当選議員の議席の指定を行った後、平田市郎議員の逝去に対する追悼演説等があつて、今期定例会の会期を7月18日までの20日間と決定。次いで、常任委員の委員会所属変更、補欠当選議員の常任委員選任及び特別委員補欠選任の後、総額14億1千300万円余の補正予算等62件の議案等が上程され、知事から提案説明。次に、「北海道の稲作に関する要望意見案」ほか2件の要望意見案が上程され、意見案第3号「北海道稲作の発展に関する要望意見案」について、提出者の説明の後、いずれも委員会付託を省略し、意見案第3号は、採決の結果、否決。

意見案第1号及び第2号は原案可決し、6月30日から7月3日まで議案調査のため休会した。

② 7月4日は、請願第170号（幌延町への貯蔵工学センター建設に反対する件）をエネルギー問題調査特別委員会に付託の後、代表質問に入り、7月7日は休会し、7月9日代表質問を終結。

③ 7月10日は、平成元年度企業会計決算等6件の案件が追加提案され、知事から提案説明の後、一般質問に入り、13日に一般質問を終結し、同日、**予算及び企業会計決算特別委員会を設置**、議案の各委員会付託を行い、付託議案審査のため7月16日から7月17日まで休会した。

④ **予算特別委員会**は、7月13日正副委員長の互選を行い、2分科会を設置の上、16日から補正予算等に対する各部審査に入り、19日にこれを終え、同日、各分科委員長から付託された議案審査の経過について報告の後、意見の調整をはかったが、議案第1号は意見の一致を見ず、討論、採決の結果、原案可決と決定、報告第1号は、承認議決と決定した。

⑤ 7月18日は、**会期を19日まで1日間延長**することに決定。19日は、更に**20日まで1日間延長**することに決定し、会期最終日の20日は、平成2年度一般会計補正予算等に対する**予算特別委員長報告**及び各付託案件に対する各委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも**原案可決又は承認議決**、**請願第172号は不採択**と決定。次に、**教育委員会委員等人事案件2件**が追加提案され、知事から提案説明の後、いずれも**同意議決**。次に、決議案第1号及び第2号について、提出者の説明の後、質疑、討論、採決の結果、**決議案第2号「貯蔵工学センターとその周辺近隣地域を高レベル放射性廃棄物の最終処分地とすることに反対する決議案」は否決**、**決議案第1号「貯蔵工学センターの設置に反対する決議案」は原案可決**。次に、「精神薄弱者等の旅客運賃等割引制度の拡大に関する要望意見案」ほか2件の意見案を原案可決の後、請願審査の件について、委員会決定のとおり、**3件を採択**、**1件を不採択**と決定。

次に、前会より継続審査の決議案第6号「動燃の資料公開を求める決議案」及び意見案第5号「貯蔵工学センター計画の凍結を求める要望意見案」の閉会中継続審査並びに閉会中報告第46号ないし第51号及び前会より継続審査中の報告第3号の継続審査を決定の後、閉会中請願、陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定し、今期定例会に付議された案件は、報告第46号ないし第51号、前

会より継続審査中の報告第3号、前会より継続審査中の決議案第6号及び意見案第5号を除き、すべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、開会以来22日目の7月20日午後11時49分閉会した。

⑥ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況						計
		原案可決	承認議決	同意議決	報告のみ	継続審査	否 決	
知 事	70	17	18	2	27	6 (1)	—	70 (1)
議 員	8	6	—	—	—	(2)	2	8 (2)
計	78	23	18	2	27	6 (3)	2	78 (3)

注 ( ) 内は、継続審査に係る議決件数を示し外数である。

## 本 会 議

○6月29日(金) 午前10時32分開議、新沼浩議長、平成2年第2回定例会の開会を宣し、引き続き、補欠当選議員水野重男氏を紹介の後、

日程第1 議席の一部変更並びに補欠当選議員の議席指定の件を議題とし、異議なく原案のとおり決定。

日程第2 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、議長から、元議員西野吉一氏の逝去(4月8日)、元議員窪田長松氏の逝去(6月6日)、議員平田市郎氏の逝去(4月12日)について弔意を表した旨報告の後、故平田市郎議員逝去に対し、大野新生議員(自民)から追悼演説が行われ、次いで、全員起立し故平田市郎議員の逝去に対する黙祷をささげた後、議事進行の都合により、午前10時48分休憩、午後零時21分再開、

日程第3 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を、本日から7月18日までの20日間と決定。

日程第4 常任委員の委員会所属変更の件を議題とし、申し出のとおり、商工労働観光委員の葛健二議員(民政)を農政委員に委員会の所属を変更することに異議なく決定。

日程第5 補欠当選議員の常任委員選任の件を議題とし、議長指名により、水野重男議員(民政)を商工労働観光委員に選任。

日程第6 特別委員補欠選任の件を議題とし、議長指名により、水野重男議員(民政)を欠員中の交通安全対策特別委員に選任。

日程第7 議案第1号ないし第17号及び報告第1号ないし第18号を議題とし、知事から説明の後、

追加日程 意見案第1号ないし第3号を議題とし、意見案第1号及び第2号については提出者の説明を省略し、意見案第3号について山根泰子議員(共産)から説明。委員会付託を省略することに決定の後、意見案第3号を問題とし、起立採決の結果、起立少数をもって否決。次に、意見案第1号及び第2号を問題とし、異議なく原案のとおり可決。次に、議案調査のた

め、6月30日から7月3日まで休会することに決定して、午後零時35分散会。

○7月4日(金) 午前10時38分開議、諸般の報告の後、

日程第1 請願第170号を議題とし、エネルギー問題調査特別委員会に付託することを決定した後、

日程第2 議案第1号ないし第17号及び報告第1号ないし第18号を議題とし、代表質問に入り、



五十嵐 勝議員(社会)から、

- ① 知事の訪ソに関し、道とロシア共和国との合意の意義と今後の可能性についての見解、対ソ経済交流の枠組みづくりと合意に向けての検討内容、合意による合同委員会設置と交流体制の進め方、北方領土問題についての感想と成果の所見、領土返還促進に向けての今後の取り組み
- ② 平成3年度北海道開発関係予算に関し、国の予算編成に向けての基本的姿勢、日米構造協議に基づく公共投資資本計画を踏まえた本道の公共事業の拡大と推進に向けた今後の対応と見解、国庫補助負担率の復元と地方財政健全化実現についての所見
- ③ 農業問題に関し、農産物輸入自由化についての認識と本道農民の声を反映されるよう政府に働きかける考え、道産野菜の産地間りレー出荷促進モデル事業の取り組みの成果と販路拡大に向けた今後の取り組み、野菜の作付実態に即した価格安定資金造成事業の対象品目や対象数量拡大の考え、移出野菜の鮮度保持や輸送方法の技術開発、試験研究についての取り組みと今後の推進方策、道北地域の農業の現状認識と将来についての所見、北海道農業ガイドポストなどにおける道北地域農業の振興方策
- ④ 廃棄物対策に関し、産業廃棄物実態調査における排出実態と今後の対処方法、道外産業廃棄物持ち込みの実態と対応、不法投棄取り締り強化についての見解、広域資源リサイク

ルセンター構想に対する対処、ごみの減量やリサイクルに当たっての対応策

- ⑤ 地域医療対策に関し、地域センター病院に対する補助制度再検討の考え、地方センター病院の指定、整備についての今後の進め方、第2次救急医療体制整備の今後の取り組み
- ⑥ 大店法問題に関し、運用適正化措置実施に対する所見、自治体の独自規制は正に対する道の要綱の対処、中小小売業について検討している対応策
- ⑦ 教育問題に関し、教育行政執行に当たっての基本姿勢、生涯学習推進本部設置の目的、性格と今後の生涯教育の推進方策、推進本部体制の充実強化の考え方
- ⑧ 公安問題に関し、交通死亡事故と暴力団に対する現状認識と今後の対策、違法駐車取り締りについての今後の具体的対策、道路交通法等法改正周知についての見解等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁があって、議事進行の都合により午後零時8分休憩、午後1時57分再開。



髙山 博議員（自民）から、

- ① 日米構造協議にかかわる本道への影響と対応に関し、成果や本道への影響についての認識と道政推進に当たっての対応策、国の動向把握と公共関連次期計画

策定や既存事業などの拡充についての働きかけの考え、平成3年度北海道開発予算要望に当たって検討状況と今後の取り組み、大店法運用適正化措置実施の受け止めと道内流通業界に対する指導及び影響の実態、大店法見直しへの今後の対処、日米林産物貿易問題の合意内容の受け止めと本道の木材需給計画への影響の認識と対処策

- ② 北海道観光宣言に関し、事前に議会や関係各界各層の意見を聞かなかった理由と今後の対応
- ③ 千歳川放水路計画の推進に関し、石狩川に注ぐ千歳川合流地域の治水問題についての受け止め、放水路建設に対する所見、地元合意取りつけについての今までの取り組み、取り組みに対する基本姿勢と今後の事業推進の所

見

- ④ 新長期総合計画にかかわる調査委託問題に関し、委託調査についての所見、新長計の信憑性についての認識、計画の見直しと再構築に対する所見、事実解明のための調査について時期、視点、主要項目及び対象、地域プロジェクトの現状認識の受け止めと見解、地域プロジェクト見直しについての見解
- ⑤ 公共事業の執行に関し、冬枯れ対策と地元中小建設業の受注機会確保について今後の対処方針、事業配分に当たっての特定地域等への対処、道産資材利用促進の取り組み
- ⑥ 住宅建設と宅地供給の促進に関し、住宅建設の平成2年度における見通し、持ち家建設促進資金の融資制度見直しの考え、道内における宅地需要の把握と宅地供給計画、国土利用計画法に基づく監視区域指定の判断と指定の効果及び指導監視の具体策
- ⑦ 雇用対策と人手不足に関し、平成2年度の雇用対策取り組みの見解、建設業、製造業、非製造業における人手不足解消の取り組み、通年雇用化に向けての対処、国の冬期雇用援護制度と道の推進方策検討状況及び確立時期、雇用通年化推進に当たっての国や市町村、民間に対するこれまでの対処と成果
- ⑧ 米の市場開放問題に関し、国内における輸入容認論に対する見解、政府支援についての見解
- ⑨ 北海道二十一世紀高齢社会ビジョンに関し、道内地域ごとの展望と対応方向についての所見、生涯生活設計のマニュアルについての見解、高齢社会での企業のあり方について行政としての対応方策
- ⑩ 教育問題に関し、新任教務主任研修のこれまでの問題点の受け止めと実施時期、参加者の特定についての所信、初任者研修の対応、新学習指導要領への移行問題について事実の把握と対処、四・六合意の基本認識、1・2・6確認についての所見
- ⑪ 交通事故対策に関し、本道交通事故問題の特性と問題点の把握、具体的事故防止策についての所見、国に対する車体改善強化策実行の働きかけの考え等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。

同議員から再質問、知事から答弁準備のため時間を要する旨発言があり、午後3時49分休憩、午後4時36分再開。本日の会議は議事の都合により延会することに決定し、午後4時37分延会。

○7月5日(木) 午後4時30分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、議事の都合により日程を延期し、延会することに決定して、午後4時31分延会。

○7月6日(金) 午前11時56分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第17号及び報告第1号ないし第18号**を議題とし、代表質問を継続、7月4日の畠山博議員(自民)の再質問に対する知事及び教育長の答弁。同議員から発言があって、議事進行の都合により午後零時17分休憩、午後1時42分再開。



**相沢 武彦議員(公明)**から、

① 知事の政治姿勢に関し、今回の訪ソ結果を踏まえたソ連・ロシア連邦共和国との経済交流の見通しと今後の具体的展開のスケジュール

の考え、今回の訪ソを通じた北方領土問題解決見通しの認識と今後の運動展開の考え方、シベリア抑留問題の国への働きかけとソ連政府に対する要請活動についての所見、道庁西地区の整備に関連した道有地利用計画と総合的マスタープラン策定についての所見

② 本道経済の活性化に関し、本道における情報処理産業の認識と今後の支援方策、地域ソフトウェアセンター実現に向けてのこれまでの取り組み、地域ソフトウェアセンター設立に向けての今後の取り組みとスケジュール

③ 農業問題に関し、本道の酪農経営を取り巻く状況についての認識と今後の酪農経営の安定に向けての取り組み、道営競馬専用場外発売所札幌市内開設に向けて地元住民の声の受け止めと札幌市の合意の見通し

④ 水産問題に関し、漁協経営改善に向け組合検査を通じたこれまでの指導と今後の取り組

みの所見、漁協経営改善指導について系統団体との連携による取り組みの所見

⑤ 医療福祉問題に関し、救急医療について国の動向に対する認識と今後の取り組み、ドクターヘリについての認識と今後の取り組み、防災救急ヘリについて全道をカバーする大型ヘリ導入必要性の所見、救急医療の役割の認識、二次、三次救急未実施地域に対する取り組みの考え方、北海道新社会福祉長期計画と国の高齢者保健福祉推進10ヶ年戦略との整合性と今後の取り組みについての所見

⑥ 交通問題に関し、本道における交通体系と交通機関ごとの整備構想の樹立に向けてのこれまでの検討状況、総合的な交通体系の確立に向けての今後の取り組みの所見

⑦ 環境問題に関し、地下水汚染実態を踏まえたこれまでの対策と成果、トリフェニルすず化合物が人体へ与える影響についての認識、本道周辺海域を初めとする環境汚染の実態把握についての今後の取り組み

⑧ オロロン鳥の保護対策に関し、オロロン鳥激滅に対するこれまでの取り組みと今後の対処方策、保護対策の一環としての増殖施設の設置を含めた今後の取り組みについての所見

⑨ 教育問題に関し、国の生涯学習振興法成立を受けての本道生涯学習振興の取り組みについての所見、地域生涯学習振興基本構想策定の対応についての所見と北海道新教育長期計画との整合性、生涯学習審議会設置の今後の取り組み等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から発言があって、議事進行の都合により午後2時51分休憩、午後3時11分再開。



**藤沢 一雄議員(民政)**から、

① 本道の国際化に関し、これまでの海外訪問を通じた成果の受け止め、今後の課題と取り組みの考え

② 今次訪ソに関し、ソ連ペレストロイカの進行ぶりとモスクワ市民の生活状況の受け止め、北方領土問題について受けた感想、サケ・マス沖取り禁止についての

受け止め、合同委員会の構成員、共同コミュニケによる双方の立場が一致しない問題の事項、稚内地域における行動制限措置について駐道大使との協議と外務省に対する要請及び反応、ソ連との相互理解認識についての見解

- ③ 国際化の推進に関し、国際化推進計画の早期策定についての考え方
- ④ 海上交通と海難救助に関し、漁船海難事故急増の背景についての見解、船舶の航行並びに海上交通の安全確保対策の考え方、苫前沖事故に対し道の取った措置、海難救助体制の強化についての見解と国や関係機関に対する要請の考え、道漁船海難防止センターに対する認識と今後の育成強化についての所見、日本水難救助会の身分保障制度確立についての所見
- ⑤ 地域振興と水産問題に関し、日本海地域の振興策の基本方向の考え方、サクラマス養殖事業の現状及び今後の課題と取り組み、ベニザケ養殖の可能性の考え、その他の魚類養殖の取り組み状況
- ⑥ 環境問題に関し、自然環境保全のためのゴルフ場開発規制についての考え、観光立県推進の進め方、本道観光の抱える課題に対する考え方
- ⑦ 交通安全対策に関し、交通事故死者増の受け止め、長期療養者の実態把握、救急患者に対応する救急医療体制の整備の考え方、ヘリコプターによる救命体制確立の考え方、交通安全施設の現状の受け止めと施設整備の考え方、高校生の事故防止対策について指導方針の研究を前進させる考えの有無と考え方、交通事故減少策の考え方等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁の後、本日の本会議は延会、7月7日は議案調査のため休会することを決定し、午後4時39分延会。

○7月9日(月) 午後3時3分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第17号及び報告第1号ないし第18号を議題とし、代表質問を継続、



山根 泰子議員(共産)から、

- ① 幌延核廃棄物施設に関し、今議会に向けての道民世論に対する考え方、貯蔵工学センター誘致について国に対する申し入れの状況、核廃棄施設によらない地域づくりのための支援方策
- ② 自衛隊施設に関し、陸上自衛隊が道東の野付、風蓮道立自然公園内に建設を進めている監視施設について設置に対する考え方、国に対する建設反対の申し入れの考え
- ③ 道立和光学園の民間移管に関し、民間移管についての考え方、整備支援の検討状況
- ④ 北方領土の問題に関し、ソ連による千島占領の考え方、四島一括返還論見直しについての見解、アイヌ民族の慰霊祭に対する対応
- ⑤ シベリア抑留者問題に関し、国際法上の見解、シベリア抑留者援護対策について国に要望する考え
- ⑥ 地価高騰対策に関し、監視区域が新たに指定された市町における届出対象の全取引件数に占める割合、国土法第12条に基づく規制区域指定についての見解
- ⑦ 千歳川放水路計画に関し、環境影響評価の実施についての見解
- ⑧ 自然保護に関し、ウトナイ湖のラムサール条約の指定について国への働きかけの考え方、厚岸から浜中に至る大湿原と植物群落を国定公園に指定するよう働きかけることについての見解
- ⑨ 酪農ヘルパー制度の確立に関し、ヘルパー制度が本道の実態に即したものとなるよう国に働きかけた具体的内容と実現に向けての取り組みの考え方
- ⑩ 安全な農産物に関し、道産農産物の安全性PRの今後の取り組み、生産者と消費者との連携についての取り組み、アトピー性皮膚炎の実態把握とポストハーベスト農業との関連についての見解
- ⑪ 大店法に関し、大店法とその運用が改悪されないよう要望することについての見解
- ⑫ 高齢者の住宅問題に関し、北海道シルバー

ハウジング構想の推進方策と年次計画、道営住宅における高齢者向け住宅とその占める割合、高齢者向け公営住宅設計指針策定の見通し、江別市大麻サンゴールドヴィラ構想で現在具体化されている高齢者住宅、福祉サービス、医療サービスの内容と神奈川県住宅供給公社のヴィンテージ・ヴィラ構想との違い及び特徴、老人居室等整備資金制度の利用実績が低い理由、北海道持家建設資金融資制度の高齢者のためのバリアフリー住宅に対する上乗せの検討についての見解

- ⑬ 低肺機能患者の在宅酸素療法に関し、在宅酸素療法を受けている患者数と管理している指定医療機関数、酸素濃縮装置に要する電気代解消措置の国への動きかけ、道としての助成措置検討についての見解
- ⑭ 手話通訳者の身分改善に関し、身分保障に向けての今までの取り組み
- ⑮ 公務員の扶養手当に関し、民間の扶養手当の年齢引き上げ 状況の認識と 民間の 実態把握、人事院に対する実態調査要請の考え、地方公務員の年齢要件引き上げについての考え方
- ⑯ 教育問題に関し、私学運営費助成の8年間における伸び率について道が占める全国の順位と見解、私立高校授業料軽減補助制度の基準緩和についての見解、学習障害児の実態把握と専門家会議設置の対処等について

質問があり、知事、人事委員長及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問、知事及び教育長から答弁。あらかじめ会議時間を延長のうえ、会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、同議員から再度質問があり、知事から答弁があって、本日の会議はこの程度にとどめ、延会することを決定し、午後4時59分延会。

○7月10日（火） 午前11時10分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 報告第46号ないし第51号**を議題とし、知事から提案説明の後、日程第1にあわせ、

**日程第2 議案第1号ないし第17号及び報告第1号ないし第18号を一括議題**とし、一般質問に入り、

桜田 正明議員（自民）から、

- ① 保健環境問題に関し、北海道地域保健医療計画における地域センター病院、地方センター病院及び救命救急センターの機能、地方センター病院の指定の根拠、指定が進んでいない理由、地方センター病院の指定要件が明確にされていない理由、指定整備が進んでいない要因と補助制度が未確立な状況、補助制度の根本的見直しによる整備促進の必要性、道立病院の累積欠損の現状と経営のあり方、静内、寿都両病院の移管の見通し、北見病院の結核病床の一般への転床など経営健全化の効果、転床による収支改善の状況、電算機導入による窓口業務への効果、北見病院の外來の混雑状況への受けとめ、施設整備の今後の取り組み、道立病院の再編整備など中間見直しの際の待ち時間解消のための施設改善の必要性、脱スパイクタイヤ推進に関連して法律と道条例の相違する点とその関係、法律と道条例の相違点解消のための手順、指定地域内のスパイクタイヤ使用禁止と冬道の安全走行への影響
- ② 農政問題に関し、土地改良事業にかかわる地方交付税措置に関する内簡の内容と2年度の負担軽減の予想額、道費の軽減分を農家負担の軽減に還元することへの見解等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。同議員から指摘等の発言があって、午前11時53分休憩、午後1時34分再開。

長沢 徹議員（社会）から、

- ① 旧国鉄用地等問題に関し、国鉄清算事業団に帰属した本道の用地と現在の管理用地、売却困難地の内容と適正な管理を行うよう関係機関へ働きかける必要性、廃線跡地の処分状況、路床等構築物の計画的な撤去の必要性、鉄道廃止路線の立体化などの解消への対応、鉄道廃止路線の鉄橋の実態と撤去への対応
- ② 優良道産品推奨制度に関し、同制度の普及率が低い現状と同制度への理解が不十分であることへの認識、推奨企業数を引き上げるための取り組み、一村一品運動との連携
- ③ 石炭及び産炭地域の振興に関し、産炭地域振興臨時措置法の延長並びに新石炭政策への

取り組み、産炭市町村に対する積極的財政支援、産炭地市町村特別対策資金貸付金の対象の拡大と貸付条件の検討方法について

質問があり、知事から答弁。

**三木 勝夫議員（自民）**から、

- 生活福祉行政に関し、障害者の社会参加と自立への各種施策の積極的取り組み、障害者の社会参加と自立に向けての考え方と取り組み状況、本年度の対策、障害者施設の整備状況、精神薄弱者授産施設の整備についての今後の対応、精神薄弱者など障害者の在宅福祉対策、精神薄弱者など障害者の雇用に係る職業安定所の活動状況と今後の対応、福祉工場の整備など福祉的就労対策への決意と見解、福祉環境整備状況調査の内容と現時点の取り組み状況、はまなす大会記念障害者スポーツ大会の概要及び成果、来年度以降の対応、全国健康福祉祭誘致の検討状況と結果、検討結果を踏えた誘致への見解、高齢者総合相談センターの1年間の相談件数と内容などの実績、今後の取り組み等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午後2時46分休憩、午後4時10分再開。

**土田 弘議員（社会）**から、

- 農村整備に関し、本道農業の目指す方向、農村の果すべき機能と農村整備の基本的な考え方、快適な環境づくりへの見解、新しい分野での農村整備の手法、農村整備に向けた合意形成の推進策と人々への訴え方、農村リゾートと関連した農家経済の向上など波及効果、21世紀に向けた農村のデザインと整備システム等具体的方策、環境整備に向けて手がける政策と国への要望、農業政策上重要で緊急な政策課題となっていることを踏まえた対応等について

質問があり、知事から答弁があって、午後4時39分延会。

- 7月11日（水）午前11時24分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第17号、報告第1号ないし第18号及び第46号ないし第51号を議題とし、一般質問を継続、

**奥野 文蔵議員（自民）**から、

- 農政の諸課題に関し、農業の後継者の就農

状況と花嫁不足の状況及び見解、農業青年人材銀行の具体的活動等と配偶者対策、市町村独自の農業担い手確保の取り組み事例と道としての支援の考え、農村婦人の労働改善や地位向上への所見、農村の生活環境整備推進への所見、離農跡地などの有効利用への対応状況、農業開発公社の農場リース制度による新規就農戸数と自立する際の資金など諸課題への対応状況、農業・農村の活性化を図るための手だて、農業団体が特定用途麦の価格差補てんを国に要請している状況とその情勢、道の対応状況、醸造小麦の基準数量の別枠設定や新たな政府買い入れ価格の設定などを要請している状況とその情勢及び見解等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午後零時4分休憩、午後1時53分再開。

**高橋 文明議員（自民）**から、

- 水産問題に関し、日ソサケ・マス合弁事業のソ連側構成員、ピレンガ合同の企業目的、日本側に対する漁獲割り当て上の権限、北洋合同水産の漁獲割り当て量、漁獲実績と操業漁船数の推移、ピレンガ合同への出資と漁獲割り当て枠に対する支払い金、赤字の実態、北洋合同水産の操業の方法、漁獲水産物の流通方法、漁獲高と漁獲割り当て枠に対する支払い金との関係、実績と漁獲対価との関連、国際プロジェクト事業においてソ連との合弁事業などを行うに当たって明らかになった事例、具体的案件発掘の成果、情報などの関係者への周知の方法、合弁事業に対する水産庁の見解、国に対する業界指導等の要請の状況、小型サケ・マス漁業の経営体の負債額と負債対策、共補償による負債残高、償還方法、漁業者の経営に与える影響等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

**勝木 省三議員（自民）**から、

- 生活福祉行政に関し、本道における出生率の低下の要因と今後の対応、道と市町村が協力した子供の健全育成推進の必要性、児童相談所運営指針を踏まえた児童相談所の機能強化への今後の取り組み、施設退所児童の実態とアフターケア、児童相談所が取扱った登校

拒否児童の相談件数と処遇の状況、今後の対策、女性の就業機会拡大への取り組み方法、仕事と家庭を両立させるための条件整備への取り組み状況、再就職を希望する女性のための制度の充実や環境整備への取り組み状況、男女の平等意識の啓発活動の推進状況、道の審議会などへの女性登用の取り組み状況等について

質問があり、知事から答弁。同議員から、再質問があり、知事から答弁。午後2時55分休憩、午後4時13分再開。

**平井 進議員（自民）**から、

- ① 国際識字年に関し、「国際識字年」の積極的周知方の必要性、「国際識字年」についての認識
- ② 道内居住者海外引揚者及び外国籍一世・二世の識字率の実態に関し、道民の識字率の実態
- ③ 識字率を高めるための対策に関し、非識字者解消のための対応状況と今後の対策
- ④ 外来語はんとらんと乱用による非識字者の増加に関し、外来語などの使用と言葉の行革に対する見解、理解できない外来語を使用しないよう放送局へ申し入れることへの見解、外来語の下に日本語を表示するよう国へ申し入れる必要性等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問があり、あらかじめ会議時間を延長した後、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問、教育長から答弁があって、午後5時7分延会。

○7月12日（木） 午前11時42分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第17号、報告第1号ないし第18号及び第46号ないし第51号**を議題とし、一般質問を継続、

**工藤 啓二議員（公明）**から、

- ① 生活福祉問題に関し、食料品の安全性などに対する消費者の苦情相談の実態、包装菓子の大半に製造年月日などの表示がなされていない現状に対する認識、他県における規制措置の実態、条例改正による表示義務など消費者保護のための対応、言語聴覚療法士の役割と本道における必要人員、今後の対応、養成機関の整備や国家資格制度の確立など国に対

し要請する必要性

- ② 産業廃棄物処理問題に関し、産業廃棄物の排出及び処理に関する実態調査の結果への受けとめ、本道の産業廃棄物の処理計画策定の方法、苫東基地の広域的資源リサイクルセンター構想への受けとめ、対象とする廃棄物と処理の方法、苫東基地第3段階計画の資源再利用業種と同構想との関連、苫東厚真火力発電所の石炭灰の処理状況と今後の計画
- ③ 教育問題に関し、学校における空き教室の現状と地域への開放の進捗状況、学校施設の有効利用のための計画策定の必要性、校則のあり方にたいする認識、道内の校則の見直しとその運用への取り組み方等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午後零時14分休憩、午後4時46分再開し、直ちに延会。

○7月13日（金） 午後1時57分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第17号、報告第1号ないし第18号及び第46号ないし第51号**を議題とし、一般質問を継続、

**綿貫 健輔議員（自民）**から、

- ① 水産行政に関し、国交が結ばれている国及び結ばれていない国との合弁・共同事業の現状、国交のない国との民間漁業交流のルールづくりをする必要性、漁業秩序・外交問題となることへの懸念、それらの国との経済交流の取り進め方、自然の生産力を助成する漁場づくりの進め方、沿岸と底びきなどふくそうした海域での漁場づくりへの取り組み、国際規制の影響を受ける地域の漁場づくりへの今後の取り組み、漁業後継者の育成についての取り組みの状況、青年層の意見などくみ上げについての施策面での位置づけと取り組み、道立漁業研修所の研修内容の見直しと地域の人が活用できる場として位置づけ強化する必要性
- ② ラムサール条約国際会議に関し、第5回締約国会議の 釧路開催決定に対する認識と評価、大会開催に向けての今後の取り組み等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

風早 俊男議員（民政）から、

- ① 経済動向と商工労働問題に関し、我が国経済の景気動向への受けとめと見通し、本道と全国的な経済指数との差異、本道の景気動向の現状と見通し、大学卒業者の道内での確保対策、道内企業の求人活動が遅いことへの指導と対策状況、Ｕターン促進センター設置など人材確保対策の状況、障害者の雇用状況に対する受けとめと道としての指導への考え、大店法の規制緩和に伴う競争激化の状況への受けとめと対処の考え、ハイマート2000構想の今後の推進方法、カナダのモデル施設の概要
- ② 環境・医療問題に関し、みどりの環境づくりの基本的な考え方と進め方などの構想、産業廃棄物の道内のリサイクルの現状、リサイクル対策の内容、医療廃棄物の実態調査結果の主な内容と留意すべき事項、道の処理指導要領の主な内容と今後の指導の考え方、健康診査の受診率向上についての考え、老人病院の入院医療管理料制度への受けとめと承認するに当たっての留意点
- ③ 地価及び住宅対策に関し、土地取引や開発規制にかかわる規制措置、札幌市の地価高騰に対する受けとめ方、農地転用の規制緩和措置の内容、地価監視区域を早めに指定する必要性、道内における住宅の現状、住宅建設の新計画策定に向けての考え方、公営住宅の入居基準見直しへの取り組みと今後の見通し、道営住宅使用料が滞納となる主な理由、道としての努力の状況
- ④ 教育問題に関し、養護学校卒業者の社会自立対策への指導、取り組み状況、卒業者の福祉施設への入所状況、登校拒否問題に対する指導体制確立の必要性等について  
質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、午後3時35分休憩、午後4時再開。

川崎 守議員（共産）から、

- ① 松前病院に関し、町移管と医療機器の整備などの今回の予算提案、これまでの充実強化の要求への対応状況、今回の増床合意と北海道地域保健医療計画で必要病床数を上回っている現状との関係

- ② 平和問題に関し、米ソ協調による軍縮の動きとソ連脅威論への認識、函館の海上自衛隊基地建設構想への見解
- ③ ＪＲ問題に関し、設立委員としてＪＲに地労委命令の早期履行を要求する必要とＪＲの態度への見解、日高線の運輸営業所の設置目的、第3セクター化や廃止への不安とＪＲへの申し入れの必要性、根室本線等のワンマン化が安全性やサービスの低下を招かないよう申し入れる考え、新たな運輸営業所設置を行わないよう申し入れる考えの有無
- ④ 景観と歴史的町並みの保存に関し、函館山山ろく西部地域町並みを重要文化財として指定拡大することへの見解、市町村の文化財保存事業に対する道費助成充実への取り組み、函館山山ろくの歴史的景観の重要性とのつばビルによる景観破壊への認識と取り組み方、伝統的建造物保存地区の拡大への取り組み方、地価抑制のため監視区域の指定拡大など再検討する必要性
- ⑤ 函館市の文教通の陸橋工事に関し、工事に伴う移転問題や公害などへの住民不安と陸橋工事を中止することへの見解
- ⑥ 南幌町の場外舟券売り場の設置に関し、建設予定地の近くに学校がある現状と計画を断念することへの見解、南幌町議会議員による戸田競艇場視察問題に対する認識と指導の状況
- ⑦ 乳牛価格に関し、乳牛枝肉価格や雄子牛などの価格下落の原因、牛肉の適正な需給調整など国への要請と道として特別措置を行う必要性、野菜園芸農家の労働力不足に対する把握状況と対処方法
- ⑧ 奥尻地区の国営草地開発事業に関し、社会経済情勢の変化に伴う問題点などへの積極的指導の必要性、奥尻島ブナ林保護のための檜山道立自然公園計画の見直し要望への検討状況と対策
- ⑨ 障害者雇用の拡大に関し、道内の雇用率未達成企業における雇用不足数、雇入れ計画作成命令の状況とその後の指導状況、雇用拡大のため道独自の指針をつくり雇用計画を提出させることへの見解
- ⑩ 老人保健法の見直しに関し、患者負担を引

き上げる制度の見直しをやめるよう国へ申し入れる考え

- (11) 住民登録に関し、岩見沢市長選に出馬要請されている元自治省職員が虚偽の転入届けを出したとの報道記事の事実関係、事実とした場合の住民基本台帳法への違反の有無等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。あらかじめ会議時間を延長の後、同議員から再々質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、同議員から発言があって、知事から答弁。質疑並びに質問を終結。

議長から、予算及び企業会計決算に関する案件について、本議会に31人の委員をもって構成する予算特別委員会及び19人の委員をもって構成する企業会計決算特別委員会を設置し、これらの案件を付託の上、審査する旨を諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員（31人）

山根 泰子（共産）	鯉谷 忠（社会）
風早 俊男（民政）	佐藤 時雄（自民）
菅原 功一（自民）	永井 利幸（自民）
和田 敬友（自民）	大野 新生（自民）
吉田 恵悦（公明）	佐々木隆博（社会）
西本 美嗣（社会）	森 敏捷（社会）
山口 恵聖（社会）	大内 良一（社会）
大島 一郎（社会）	大平 盛雄（社会）
藤沢 一雄（民政）	国本 康夫（自民）
平井 進（自民）	綿貫 健輔（自民）
中川 義雄（自民）	久田 恭弘（自民）
水岡 薫（自民）	岩田 徳弥（自民）
浅野 俊一（公明）	谷川 英雅（社会）
神本 三也（社会）	長岡 寅雄（社会）
舟山 広治（社会）	佐々木利昭（自民）
高木 繁光（自民）	

○企業会計決算特別委員（19人）

奥野 文藏（自民）	高橋 文明（自民）
野呂 善市（自民）	小野寺 勇（自民）
吉田 恵悦（公明）	小山 誠司（社会）
鈴木 泰行（社会）	西本 美嗣（社会）
川崎 守（共産）	大平 盛雄（社会）
柏倉 勝雄（社会）	菊地 芳郎（社会）
酒井 芳秀（自民）	湯佐 利夫（自民）
岩本 允（自民）	木本 由孝（自民）
岡本栄太郎（社会）	小野 秀夫（民政）

宇川 源吉（自民）

残余の案件については、議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した。

各委員会付託議案審査のため、7月16日から7月17日まで休会することに決定して、午後5時13分散会。

- 7月18日（水） 午後4時30分開議、諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、議事の都合により、会期を7月19日まで1日間延長することをはかり、異議なく決定して、午後4時31分散会。

- 7月19日（木） 午後4時47分開議、諸般の報告の後、

日程第1 会期延長の件を議題とし、議事の都合により、会期を7月20日まで1日間延長することをはかり、異議なく決定して、午後4時48分散会。

- 7月20日（金） 午後4時40分開議、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時41分休憩、午後9時26分再開。諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第17号及び報告第1号ないし第18号並びに

日程第2 請願第172号を一括議題とし、日程第2の委員長報告を省略することとし、日程第1に関し、予算特別、水産林務、総務、保健環境、生活福祉、建設、商工労働観光、文教各委員長から、それぞれ各委員会における付託案件の審査の経過と結果について、報告の後、討論に入り、

川崎守議員（共産）から、議案第1号、第7号、第8号、第9号、第17号及び報告第2号についての反対討論並びに議案第6号について賛成討論があって、討論終結。

採決に入り、日程第1のうち議案第2号、第7号ないし第9号、第17号及び報告第2号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって、いずれも委員長報告のとおり可決。次に、日程第1のうち、議案第2号ないし第6号、第10号ないし第16号、報告第1号及び第3号ないし第

18号を問題とし、いずれも異議なく委員長報告のとおり可決又は承認議決と決定。

次に、日程第2を問題とし、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって、請願審査報告書のとおり不採択と決定。

**日程第3 議案第18号及び第19号**を議題とし、知事から提案説明の後、委員会付託を省略の上、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって、いずれも原案のとおり同意議決。

**日程第4 決議案第1号及び第2号**を議題とし、渋谷澄夫議員（社会）から、決議案第1号について、土屋良三議員（自民）から、決議案第2号について、それぞれ提案説明の後、質疑に入り、

酒井 芳秀議員（自民）から、

- 決議案第1号（貯蔵工学センターの設置に反対する決議）に関し、幌延町貯蔵工学センターに「多数の道民から反対の声が高まっている。」とした根拠、廃棄物の処理・処分について「道民の多くが」という判断をした根拠、処理の方策が信頼できないとしたデータ及び科学的根拠、国の安全規制が信頼できない理由、貯蔵工学センターが最終処分地になるとの疑念の根拠、処分技術の研究自体の否定への可否、決議案をこの時期に提出した意図、反対決議を提出した各党派の見解、道議会が自治体の動きを封じ込めるような決議を行なうことへの見解、泊原発と関連しての各党派の見解等について

質疑があり、渋谷澄夫議員（社会）、浅野俊一議員（公明）、小野秀夫議員（民政）及び大橋見議員（共産）からそれぞれ答弁。同議員から再質疑があって、各議員からそれぞれ答弁。同議員から、指摘等の発言。

大橋 見議員（共産）から、

- 決議案第2号（貯蔵工学センターとその周辺近隣地域を高レベル放射性廃棄物の最終処分地とすることに反対する決議）に関し、貯蔵工学センターの性格と名称、決議案の提出が最終処分地となる可能性を前提としたとの見方に対する当否、幌延に貯蔵工学センターを設置する理由、動燃の立地環境調査結果に対する疑念と調査結果への見解、最終処分地となることへの道民世論の不安に対する見解等

について

質疑があり、土屋良三議員（自民）から答弁。同議員から再質疑があって、土屋議員から答弁があって、質疑を終結。

次に、討論に入り、高橋康之議員（自民）から決議案第1号に対する反対討論、伊藤武一議員（公明）から決議案第1号に対する賛成討論、神本三也議員（社会）から決議案第2号に対する反対討論、久田恭弘議員（自民）から決議案第2号に対する賛成討論、山根 泰子議員（共産）から決議案第2号に対する反対討論があって、討論終結。

採決に入り、日程第4のうち、決議案第2号を問題とし、起立採決の結果、起立少数をもって、否決。次に、日程第4のうち、決議案第1号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって、原案可決。

**日程第5 意見案第4号ないし第6号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、いずれも異議なく原案のとおり可決。

**日程第6 請願審査の件**を議題とし、委員長報告を省略の上、いずれも請願調査報告書のとおり、異議なく決定。

**日程第7 前会より継続審査の決議案第6号及び意見案第5号閉会中継続審査の件**を議題とし、エネルギー問題調査特別委員長から継続審査の申し出があった旨、本件については、共産党から、継続審査とすることについて反対である旨の意思表示があったことを報告。

採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって、前会より継続審査の決議案第6号及び意見案第5号は、閉会中の継続審査に付することに決定。

閉会中報告第46号ないし第51号及び前会より継続審査中の報告第3号継続審査の件について、企業会計決算特別委員長及び決算特別委員長から申し出のとおり、異議なく、閉会中の継続審査に付することを決定。

閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長並びにエネルギー問題調査特別委員長から、委員会において審査または調査中の案件について申し出のとおり、異議なく、閉会中の継続審査または調査に付することを決定。

今期定例会に付議された案件は、報告第46号ないし第51号、前会より継続審査中の報告第3号、前会より継続審査中の決議案第6号及び意見案第5号を除き、すべて議了。議長の閉会のあいさつがあって、午後11時49分閉会。

過と結果を申し上げ、私の報告を終わります。

## 予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、7月13日設置され、平成2年度一般会計補正予算及び専決処分報告につき承認を求める件の2件が付託されたのでありますが、本委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員長の互選を行いますとともに、審査の方法等について協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長に西本美嗣君、副委員長に菅原功一君、第2分科会は、委員長に綿貫健輔君、副委員長に森敏捷君を選任するとともに、審査の方法等について協議を行い、7月16日から各部所管の審査に入り、7月19日をもって各分科会の質疑を終了し、同日の委員会において、各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託されました案件は、総額14億1千300万円余に及ぶ補正予算などでありまして、これらの案件を中心に、道政全般にわたり熱心な質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会といたしましては、引き続き、各会派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図りました結果、議案第1号につきましては、意見の一致を見るに至らず、採決の結果、賛成者多数をもって原案可決、報告第1号は、全会一致、承認議決と決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経

## 第2回定例会において知事から提出のあった案件

### 議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 29	1	平成2年度北海道一般会計補正予算(第2号)	予算特別	7. 20	原案可決
同	2	北海道立道民の森条例案	水産林務	同	同
同	3	北海道職員等の旅費に関する条例等の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	4	北海道恩給条例臨時特例等の一部を改正する条例案	同	同	同
同	5	北海道税条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	6	低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	7	北海道病院事業条例の一部を改正する条例案	保健環境	同	同
同	8	北海道立和光学園設置条例を廃止する条例案	生活福祉	同	同
同	9	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	同	同
同	10	北海道道の路線の認定に関する件	同	同	同
同	11	工事請負契約の締結(北海道立食品加工研究センター(仮称)新築工事(研究棟))に関する件	商工労働観	同	同
同	12	工事請負契約の締結(十勝川流域下水道浄化センター沈砂池・水処理・汚泥処理施設(機械・電気)工事)に関する件	建 設	同	同
同	13	工事請負契約の締結(3・3・43東鷹栖東旭川線新永山橋架換工事(下部工))に関する件	同	同	同
同	14	工事請負契約の締結(石狩川流域下水道中部二号幹線管きょ新設(九工区)工事)に関する件	同	同	同
同	15	工事請負契約の締結(石狩川流域下水道中部二号幹線管きょ新設(八工区)工事)に関する件	同	同	同
同	16	財産の取得(土地・北海道札幌観音学校用地)に関する件	文 教	同	同
同	17	財産の処分(建物・小樽市桜4丁目617番地の1)に関する件	生活福祉	同	同
7. 20	18	北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同意議決
同	19	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同

### 報 告

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 29	1	専決処分報告につき承認を求める件(平成2年度北海道一般会計補正予算〔第1号〕平成2年5月10日専決処分)	予算特別	7. 20	承認議決
同	2	専決処分報告につき承認を求める件(〔北海道税条例の一部を改正する条例〕平成2年3月31日専決処分)	総 務	同	同
同	3	専決処分報告につき承認を求める件(工事請負契約の締結〔北海道留萌合同庁舎改築工事〕に関する件、5月16日専決処分)	同	同	同
同	4	専決処分報告につき承認を求める件(工事請負契約の締結〔道立野幌総合運動公園硬式野球場(RCスタンド建築)工事〕に関する件、5月28日専決処分)	建 設	同	同

提出月日	番号	件名	付託 委員会	議決月日	議事結果
6. 29	5	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道真駒内養護学校校舎改築工事〕に関する件、5月16日専決処分）	文 教	7. 20	承認議決
同	6	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道岩見沢農業高等学校改築第二期工事〕に関する件、5月16日専決処分）	同	同	同
同	7	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道後志地区養護学校（仮称）新築工事〕に関する件、5月16日専決処分）	同	同	同
同	8	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道岩見沢西高等学校改築工事〕に関する件、5月16日専決処分）	同	同	同
同	9	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道函館中部高等学校改築工事〕に関する件、5月16日専決処分）	同	同	同
同	10	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道函館工業高等学校改築第三期工事〕に関する件、5月16日専決処分）	同	同	同
同	11	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道室蘭栄高等学校改築第二期工事（第一工区）〕に関する件、5月16日専決処分）	同	同	同
同	12	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道函館工業高等学校屋内体育館改築工事〕に関する件、5月16日専決処分）	同	同	同
同	13	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道苫小牧西高等学校改築第二期工事〕に関する件、5月16日専決処分）	同	同	同
同	14	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道立帯広美術館（仮称）新築第二期工事〕に関する件、5月28日専決処分）	同	同	同
同	15	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道標茶高等学校改築工事〕に関する件、5月28日専決処分）	同	同	同
同	16	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道足寄高等学校改築第二期工事〕に関する件、5月28日専決処分）	同	同	同
同	17	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道南幌高等学校改築工事〕に関する件、5月28日専決処分）	同	同	同
同	18	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔釧路運転免許試験場庁舎新築工事〕に関する件、5月16日専決処分）	総 務	同	同
同	19	平成元年度北海道継続費繰越計算書報告の件			報告のみ
同	20	平成元年度北海道繰越明許費繰越計算書報告の件			同
同	21	北海道住宅供給公社の経営状況に関する件			同
同	22	北海道土地開発公社の経営状況に関する件			同
同	23	財団法人北海道農業開発公社の経営状況に関する件			同
同	24	社団法人北海道私立専修学校各種学校基金協会の経営状況に関する件			同
同	25	財団法人北海道中小企業振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	26	社団法人北海道体育文化協会の経営状況に関する件			同
同	27	財団法人北海道公害防止基金協会の経営状況に関する件			同
同	28	財団法人北海道水産加工振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	29	社団法人北海道産炭地域振興センターの経営状況に関する件			同
同	30	財団法人北海道私立高等学校奨学会の経営状況に関する件			同
同	31	社団法人北海道軽種馬振興公社の経営状況に関する件			同
同	32	財団法人北海道ボランティア振興協会の経営状況に関する件			同
同	33	財団法人北方圏交流基金の経営状況に関する件			同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 29	34	財団法人北海道中小企業振興公社の経営状況に関する件			報告のみ
同	35	財団法人北海道埋蔵文化財センターの経営状況に関する件			同
同	36	財団法人北海道勤労者福祉協会の経営状況に関する件			同
同	37	財団法人北海道開拓の村の経営状況に関する件			同
同	38	北炭真谷地炭鉱株式会社の経営状況に関する件			同
同	39	財団法人北海道高齢者問題研究協会の経営状況に関する件			同
同	40	財団法人北海道森林整備公社の経営状況に関する件			同
同	41	財団法人食の祭典委員会の経営状況に関する件			同
同	42	財団法人北海道住宅管理公社の経営状況に関する件			同
同	43	財団法人テクノポリス函館技術振興協会の経営状況に関する件			同
同	44	専決処分報告の件（訴えの提起の決定、平成2年5月22日3件、平成2年6月20日1件専決処分）			同
同	45	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、平成2年6月5日2件、平成2年6月8日2件、平成2年6月13日2件、平成2年6月19日1件専決処分）			同
7. 10	46	平成元年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計 決算特別	7. 20	継続審査
同	47	平成元年度北海道有林野事業会計決算に関する件	同	同	同
同	48	平成元年度北海道北広島団地開発事業会計決算に関する件	同	同	同
同	49	平成元年度北海道電気事業会計決算に関する件	同	同	同
同	50	平成元年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同	同	同
同	51	平成元年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件	同	同	同

### 前会から継続審査中の案件

#### 報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
1.12. 5	3	昭和63年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	7. 20	継続審査

## 第2回定例会において議員から提出のあった案件

### 決 議 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
7. 12	1	貯蔵工学センターの設置に反対する決議	渋谷澄夫議員ほか56人	7. 20	原案可決
7. 19	2	貯蔵工学センターとその周辺近隣地域を高レベル放射性廃棄物の最終処分地とすることに反対する決議	土屋良三議員ほか46人	同	否 決

### 意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
6. 29	1	北海道の稲作に関する要望意見書	小野寺勇議員ほか11人	6. 29	原案可決
同	2	農畜産物市場開放阻止に関する要望意見書	同	同	同
同	3	北海道稲作の発展に関する要望意見書	山根泰子議員ほか3人	同	否 決
7. 20	4	精神薄弱者等の旅客運賃等割引制度の拡大に関する要望意見書	伊藤武一議員ほか11人	7. 20	原案可決
同	5	造血機能障害者対策の充実についての要望意見書	岡本栄太郎議員ほか11人	同	同
同	6	白内障の人工水晶体（眼内レンズ）に関する要望意見書	伊藤武一議員ほか11人	同	同

## 前 会 か ら 継 続 審 査 中 の 案 件

### 決 議 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	付託委員会	議決月日	議事結果
3. 30	6	動燃の資料公開を求める決議	本間喜代人議員 ほか3人	エネルギー問題調査特別	7. 20	継続審査

### 意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	付託委員会	議決月日	議事結果
1.12.16	5	貯蔵工学センター計画の凍結を求める要望意見書	大橋 晃議員ほか3人	エネルギー問題調査特別	7. 20	継続審査

# 決 議 案

## 決議案第1号

(平成2年2定  
渋谷澄夫議員ほか56人提出  
平成2年7月20日原案可決)

### 貯蔵工学センターの設置に反対する決議

動力炉・核燃料開発事業団が幌延町を候補地としている貯蔵工学センターについては、多数の道民から反対の声が高まっている。

高レベル放射性廃棄物や超ウラン廃棄物の処理処分について、道民の多くが、いまだに信頼できる方策は確立されていないとし、また、貯蔵工学センター周辺近隣地域が最終処分地になるとの疑念もあって、強い不安をもっている。

よって、本議会は、貯蔵工学センターの設置に反対するものである。

右決議する。

平成 年 月 日

北 海 道 議 会

## 決議案第2号

(平成2年2定  
土屋良三議員ほか46人提出  
平成2年7月20日否決)

### 貯蔵工学センターとその周辺近隣地域を高レベル放射性廃棄物の最終処分地とすることに反対する決議

わが国の発電電力の30%が原子力で賄われている現状からみて、核燃料サイクル確立は極めて重要な課題であり、その一環となる放射性廃棄物の処理、貯蔵、処分の研究開発は集眉の急務となっている。

このため国においては、留萌管内幌延町に貯蔵工学センターの設置を計画しているが、この施設は高レベル放射性廃棄物の処分技術の確立や、有効利用の技術開発等を目的とする高度な先端技術センターであり、わが国の今後のエネルギー需要に適切に対応していくうえで欠くことのできない「総合研究施設」である。

しかしこの施設について、一部に高レベル放射性廃棄物の最終処分地となる可能性があるとの論議があることは、道民に徒らに不安感を抱かせるものであり、まことに遺憾である。

国においても、貯蔵工学センターをこれまでどおり純粋な研究施設として設置するものと明言している。

よって、北海道議会は、道民の不安を解消するため同センターとその周辺近隣地域を高レベル放射性廃棄物の最終処分地とすることに改めて反対の意を表明するとともに、貯蔵工学センターについては研究施設としての性格をより明確にするうえからもこれにふさわしい名称に変更すべきことを求めるものである。

右決議する。

平成 年 月 日

北 海 道 議 会

# 意見案

## 意見案第1号

(平成2年2定  
小野寺勇議員ほか11人提出  
平成2年6月29日原案可決)

### 北海道の稲作に関する要望意見書

米をめぐる厳しい情勢の中で、本道は、我が国の稲作主生産地として、大規模な専業農家が主体となって、「おいしくて・安い米づくり」に全力を挙げて取り組んでいるところであるので、その進展に打撃を与えることのないよう、今後とも食糧管理制度の根幹と国内自給方針を堅持するとともに、左記事項を実現するよう強く要望する。

#### 記

#### 1 平成2年産米の政府買入価格について

- (1) 2年産米の政府買入価格については、生産者の所得が確保され経営の安定が図られるよう適正に決定すること。
- (2) 本道は、生産者及び関係機関が挙げて良食味米の生産に努力し、その成果が現れてきている状況にあるので、類間格差を拡大しないこと。また、「ゆきひかり」及び「きらら397」に講じられている類間格差の加算措置は2年産においても継続するとともに、「空育125号」についても、同様の措置を講ずること。

#### 2 特別自主流通奨励金について

本道は、適正な自主流通米比率を確保するため、生産者自らの負担を伴いながら自主流通を進めていることから、特別自主流通奨励金の現行水準を維持すること。

#### 3 稲作経営の体質強化対策について

生産性が高く、体質の強い水田農業の確立を図るため、次の諸対策を拡充強化すること。

- (1) 農業基盤の整備促進と農家負担軽減対策の充実
- (2) 農地流動化促進対策の充実
  - 農地保有合理化促進特別事業の買入資金枠の確保
  - 担い手確保農地保有合理化促進特別事業の改善
  - 譲渡所得税の特別控除制度の改善
- (3) 農業金融対策の拡充強化
  - 農業基盤整備資金（新規借入分）の償還条件の改善
  - 農地等取得資金の貸付条件の改善

#### 4 農業生産資材価格対策について

生産コストの軽減と経営の安定を図るため、農業機械・肥料等生産資材の価格低減と安定供給に強力な行政指導を行うこと。

#### 5 試験研究について

国際化に対応した体質の強い稲作経営を育成するため、先端技術の活用等による新技術の開発を積極的に推進すること。

- 高品質品種の緊急開発
- スーパーライス計画の推進
- 北海道グリーンバイオ研究所への出資額の確保

#### 6 米消費拡大対策について

米の消費拡大と米食を中心とした日本型食生活の定着を図るため、米飯学校給食など米消費拡大対策を拡充強化すること。  
右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 新 沼 浩

内閣総理大臣、農林水産大臣 各通

## 意見案第2号

(平成2年2定  
小野寺勇議員ほか11人提出  
平成2年6月29日原案可決)

### 農畜産物市場開放阻止に関する要望見書

北海道の農業は、最近における主要作物の生産抑制など厳しい環境のなかで、生産者及び関係者が一丸となって生産性の高い農業の確立を目指して懸命な努力を重ね、我が国における食料供給基地として安全で良質な食料の安定供給に重要な役割を担い、かつ、国土・環境の保全、地域経済の維持等多面的な機能を発揮している。

しかしながら、現在進められているガット・ウルグァイ・ラウンドの場においては、農畜産物の市場開放問題が論議されており、北海道民は農業の将来に大きな不安を持って交渉の成り行きを見守っている。

特に、米をはじめでん粉・雑豆及び乳製品等は、北海道農業の根幹となる農畜産物であり、これ以上の輸入自由化は、北海道の農業に致命的な打撃を及ぼすものであるばかりでなく、地域経済・社会全体に甚大な被害をもたらすこととなる。

よって、政府においては、不退転の決意で左記事項を実現するよう強く要望する。

#### 記

- 1 我が国農業の基幹である米の国内完全自給の方針を堅持し、市場開放をしないこと。
- 2 北海道農業の振興上重要な農畜産物であるでん粉・雑豆・乳製品等の現行輸入規制措置を堅持すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 新 沼 浩

内閣総理大臣、外務大臣 } 各通  
農林水産大臣

## 意見案第3号

(平成2年2定  
山根泰子議員ほか3人提出  
平成2年6月29日否決)

### 北海道稲作の発展に関する要望意見書

本道は、我が国の稲作主産地として、米をめぐる厳しい情勢の中で、「おいしく・安い米づくり」に全力を挙げて取り組んできた。

しかし、「担い手」中心の新算定方式の導入による近年の米価の引き下げは、稲作農家経

営を著しく圧迫している。現在の生産者価格は年前の水準であり、大幅な減反、生産資材の高値安定、輸入拡大による転作条件の制約とともに、北海道稲作の多面的な発展を阻害している。

よって、政府においては、豊かな発展の可能性をひめた本道稲作を花ひらかせるために、コメの自由化を阻止し、稲作経営の安定対策と消費拡大対策を強化するとともに、次の対策をとられることを要望する。

#### 記

#### 1 平成2年産米の政府買入価格の引き上げについて

- (1) 政府買入価格については、生産費を償い再生産を保障し、稲作農家が勤労者並みの生活ができる水準に引上げること。
- (2) 米作農家の家族労働報酬は、この間7千円から4千3百円へと4割も低下したが、生産者米価の算定方式については、「担い手」方式を根本的に見直すこと。

#### 2 食管制度の堅持について

- (1) 自主米取引所は、食管制度を空洞化し、コメ市場への大資本参入や自由化に結びつく恐れがあり、一方的に実施しないこと。
- (2) 食管制度の本旨にのっとり、政府売渡価格を適切に下げ、順ザヤを解消すること。
- (3) 政府米の集荷比率減少をやめ、5割台に回復すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 新 沼 浩

内閣総理大臣、農林水産大臣 各通

#### 意見案第4号

(平成2年2定  
伊藤武一議員ほか11人提出  
平成2年7月20日原案可決)

#### 精神薄弱者等の旅客運賃等割引制度の 拡大に関する要望意見書

障害者の自立や社会参加を促進するうえで、鉄道旅客運賃、航空旅客運賃等及び有料道路料金等の割引制度は大きな役割を果たしている。しかしながら、この割引制度は、精神薄弱者及び一部の身体障害者に対しては適用されていない。

国際障害者年のテーマである「完全参加と平等」を実現するために、すべての障害者に対し、この割引制度が適用されることが適当と考える。

よって、国におかれては、鉄道旅客運賃、航空旅客運賃、有料道路料金等の割引制度をすべての障害者に対して適用されるよう、各旅客鉄道株式会社、各国内航空会社、日本道路公団等に対し指導することを要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 新 沼 浩

内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣 } 各通  
運輸大臣、建設大臣

## 意見案第5号

(平成2年2定  
岡本栄太郎議員ほか11人提出  
平成2年7月20日原案可決)

### 造血機能障害者対策の充実についての 要望意見書

近年、我が国では白血病、再生不良性貧血などの骨髓造血機能疾患患者に対しての根治療法として骨髓移植が行われている。

しかしながら、この骨髓移植には患者と骨髓提供者の組織適合抗原（HLA抗原）の一致が必要であるが、この適合率は、兄弟姉妹で4分の1、一般の場合は5百から1万分のという低いものであるため、患者が適合提供者を確保することは、困難な状況にある。

このため、広く国民のボランティア精神に基づく骨髓提供者登録制度（骨髓バンク）の設立に大きな期待がかけられているが、設立には解決しなければならない多くの問題がある。

よって、政府におかれては、造血機能障害者及びその家族を救済するため、自家骨髓移植など治療研究を一層推進するとともに、骨髓バンクの設立の検討など造血機能障害者対策の充実を図られるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 新 沼 浩

内閣総理大臣、厚生大臣 各通

## 意見案第6号

(平成2年2定  
伊藤武一議員ほか11人提出  
平成2年7月20日原案可決)

### 白内障の人工水晶体（眼内レンズ）に 関する要望意見書

医療の技術の革新、進歩は、著しいものがあり、眼科の分野でもその最たるものの1つが眼内レンズの普及である。

近年、わが国における急速な高齢化に伴い、老人性白内障の患者数は増え続けており、白内障の手術を受けた場合、その手術代については保険の適用となるものの、眼内レンズについては保険給付の対象外となっている。

よって、すべての老人性白内障患者が安心して、眼内レンズ装着の手術を受け、光を取り戻すためにも、国においては、早急に眼内レンズに保険が適用されるよう要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 新 沼 浩

内閣総理大臣、厚生大臣 各通

# 請 願 ・ 陳 情

① 第2回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

## 請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審 査 の 結 果
164	北海道の公共嘱託登記発注促進に関する件	社団法人釧路公共嘱託登記司 法書士協会 理事長 松浦 清一外1人	建 設	継続審査
165	同	同	農 政	同
166	札幌市西区、手稲区に高等養護学校の新設か、星置養護学校高等部の併設を求める件	札幌市西区福井4丁目9番5 号 たんぼの会 代表 吉田 峰男	文 教	同
167	道営競馬場外馬券売場の薄野地区開設に反対する件	札幌市薄野地区暴力追放運動 推進協議会 会長 斉藤 鶴雄外3人	農 政	同
168	コメ輸入自由化阻止を求める件	農民運動北海道連合会 委員長 菅原 朝喜	同	議決不要
169	平成2年産米価引上げに関する件	農民運動北海道連合会 委員長 菅原 朝喜	同	同
170	幌延町への貯蔵工学センター建設に反対する件	核廃棄物処理施設建設を阻止 する道北酪農青年協議会 代表 後藤 忍外14人	エネ ルギ ー問 題調 査 特 別	継続審査
171	白内障眼内レンズの保健適用に関する件	白石区民の要求を実現する連 絡会 代表 安川 直江	生活福祉	採 択
172	道立和光学園の存続を求める件	全国福祉保育労働組合北海道 地方本部執行委員長 池内 喬	同	不 採 択
123	檜山支庁管内から選出される北海道議会議員の定数の現状維持を求める件	檜山支庁管内町村会 会長 赤泊 茂松外1人	総 務	継続審査

## 陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委員会	審 査 の 結 果
28	薄野地区道営競馬場外発売所設置反対に関する件	札幌市中央区南6条西5丁目 18 遠藤 象三外31人	農 政	継続審査

② 継続審査中のものであって、第2回定例会において採否の決定のあったもの。

## 請 願

文書表 番 号	件 名	付 託 委員会	審 査 の 結 果
161	精神薄弱者に対する運賃等の障害者割引の適用に関する件	生活福祉	採 択
162	増血機能障害者対策の充実に関する件	保健環境	同

③ 更に継続審査されるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
22	新大型間接税の導入に反対する件	総 務
24	いかなる名称を問わず新大型間接税の導入に反対する意見書採択に関する件	同
73	西帯広ニュータウン警察官派出所設置に関する件	同
104	消費税の廃止を求める件	同
105	米空軍核攻撃機F16の北海道上空等での低空飛行訓練中止を求める件	同
108	消費税の廃止を求める件	同
115	米空軍核攻撃機F16の北海道上空等での低空飛行訓練中止を求める件	同
117	消費税の廃止を求める件	同
118	同	同
119	同	同
120	同	同
122	世界・食の祭典赤字処理に関する件	同
123	同	同
124	同	同
153	在日朝鮮人の人権保障を求る件	同
156	分娩介助費等への消費税転嫁撤回を求める件	同
14	社会福祉施策の充実を求める件	生活福祉
27	無認可保育所・学童保育の施策の確立、助成を求める件	同
28	国民健康保険法の改正に反対し、道民の医療を守る件	同
29	道国保連の「老人の在宅療養にかかわる被保険者教育事業」の中止を求める件	同
106	「特別注文食品」など、病院給食における差別医療に反対し、治療食の充実を求める件	同
149	「寝たきり老人介護手当」の改善を求める件	同
158	消費税転嫁の撤回を求める件	同
21	北海道立江差病院、北海道立羽幌病院、町立中標津病院に人工透析施設の早期実現に関する件	保健環境
94	放射能汚染食品の実態の公開と測定装置の設置に関する件	同
107	「特別注文食品」など、病院給食における差別医療に反対し、治療食の充実を求める件	同
151	原爆被害者援護法に関する件	同
155	分娩介助費等への消費税転嫁撤回を求める件	同
159	消費税転嫁撤回を求める件	同
17	室蘭港の活用促進に関する件	商工労働 観 光
18	苫小牧港東港区の流通港湾化反対に関する件	同
1	国民の主食・米の輸入反対、食管制度の改善・充実、安全な国民食料の確保、主要農畜産物の価格保障、日本農業の自主的発展を求める件	農 政

文書表 番 号	件 名	付託委員会
6	道営下南部地区ため池整備事業並びに道営下南部地区は場整備事業実施に伴う既借入資金（公庫資金）の条件緩和を求める件	農 政
129	国営総合かんがい排水事業に関する件	同
101	「小島の村」を保護するため、札幌市の当該地区における将来道路網計画及び「藤野通」等の都市計画決定の変更を求める件	建 設
116	道営住宅家賃に消費税転嫁をしないよう求める件	同
121	道営住宅家賃に消費税転嫁をしないことを求める件	同
125	花畔団地地域暖房料金引下げを求める件	同
7	船舶を使用して行うサケ釣り規制措置の緩和等に関する件	水産林務
160	消費税転嫁の撤回を求める件	同
2	銭函地区の道立普通科高校新設に関する件	文 教
4	46人すしづめ学級・マンモス高校の強制に反対し、公立高校の新増設、40人以下学級の実現など教育条件整備、小学区制の回復と都市部における総合選抜制の実現、私学への大幅な公費助成を求める件	同
9	函館養護学校・七飯養護学校への高等部設置を求める件	同
10	障害児の後期中等教育施設設置を求める件	同
11	公立高等学校の入学検定料及び入学科の値上げに反対し、父母負担の軽減を求める件	同
16	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、私学教育のゆたかな発展をはかるため、私学助成の拡充を求める件	同
19	北海道の子どもたちと青年に豊かな教育を保障する件	同
26	40人以下学級の全面実施と、教員採用制度の民主的改善並びに教員の統制に道をひらく法改正に反対する件	同
77	公立高校の46人学級と11間口（1学年11学級）を解消し、道立高校の新設と私学への公費助成の増額を求める件	同
78	「主任」ならびに「主任手当」の制度の廃止を求める件	同
98	学校図書館の充実・改善をもとめる件	同
99	高校間口減に反対する件	同
103	養護学校に併設の高等部の設置と障害児学校高等部の重複学級の増設を求める件	同
127	胆振第二学区苫小牧南高校間口存続に関する件	同
130	公立学校の46人学級・既設校の学級増の解消と本年度の中学卒業生の増加分に相当する道立高校を新設すること。人為的に作られた学校間格差を解消するために入試制度の改善を求める件	同
131	北海道倶知安農業高等学校の学級削減案の白紙撤回を求める件	文 教
132	北海道古平高等学校間口削減に関する件	同
133	北海道栗山高等学校家政科募集停止反対に関する件	同
134	北海道岩見沢緑陵高等学校の学級削減に反対し、ゆきとどいた教育を求める件	同
135	「平成2年度公立高等学校適正配置計画」による夕張市内高等学校間口問題に関する件	同
136	滝川工業高校と新十津川農業高校の学級削減をやめ、35人以下学級実現を求める件	同
137	来年度の空知第五学区高等学校の学級減反対に関する件	同
138	上川第五学区高校間口削減案撤回に関する件	同
139	胆振第一学区高校の学級減反対に関する件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
140	胆振第二学区の苫小牧南高校の間口削減をおこなわないことを求める件	文 教
141	胆振第二学区の苫小牧南高校、第三学区の穂別高校の間口削減をおこなわないことを求める件	同
142	北海道穂別高等学校の二間口維持に関する件	同
143	十勝第二学区の鹿追高等学校の学級減反対に関する件	同
144	十勝第三学区の大樹高校の学級減反対に関する件	同
145	北海道蘭越高等学校の間口削減に関する件	同
146	釧路第四学区の霧多布高校の学級減反対に関する件	同
147	小中高35人以下学級の早期実現と私学助成の抜本的拡充を求める件	同
152	障害児教育の充実を求める件	同
154	教職員の昇給短縮存続と賃金改善を求める件	同
157	消費税転嫁の撤回を求める件	同
163	教職員住宅家賃の消費税転嫁の撤回を求める件	同
43	泊原発に反対する件	エネルギー問 題調査特別
51	泊原発の運転に反対する件	同
52	同	同
59	泊原発に反対する件	同
63	泊原子力発電所の運転に反対する件	同
65	泊原発の運転に反対する件	同
66	同	同
68	泊原子力発電所の運転に反対する件	同
69	泊原発防災計画に関する件	同
70	北電に対し、「泊原発」の運転反対を求める件	同
71	泊原子力発電所の運転に反対する件	同
72	幌延高レベル核廃棄物処理施設導入反対および泊原子力発電所の稼働凍結に関する件	同
74	泊原子力発電所の運転に反対する件	同
75	泊原子力発電所防災計画見直しに関する件	同
76	泊原発の運転延期に関する件	同
79	泊原子力発電所の運転延期に関する件	同
80	泊原発の運転延期に関する件	同
81	泊原子力発電所の運転に反対する件	同
83	同	同
84	北電に対し、「泊原発」の運転反対を求める件	同
85	同	同
86	同	同
87	同	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
88	北電に対し、「泊原発」の運転反対を求める件	エネルギー問題調査特別
89	同	同
90	同	同
92	泊原子力発電所の運転に反対する件	同
148	北電に対し、「泊原発」の運転停止を求める件	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
9	「国家（防衛）秘密法案」再上程反対決議に関する件	総 務
11	消費税の創設に反対することに関する件	同
27	「在日韓国人の法的地位協定」再協議に関する件	同
22	年金改悪反対の議会決議に関する件	生活福祉
23	産業廃棄物の処理に関する規制強化を求める件	保健環境
19	道内における管工事下請負業者の経営基盤の強化に関する件	商工労働 観 光
2	公立高校の新設と総合選抜制度の早期実施並びに私立高校生への公費補助を求める件	文 教
4	すべての重度・重複の肢体不自由児にも後期中等教育（高等部）の保障を求める件	同
25	小樽工業高等学校の学級削減案の白紙撤回を求める件	同
10	泊原発の運転「凍結」を求める件	エネルギー 問題調査特別
14	泊原子力発電の運転反対に関する件	同
17	泊原発の試運転延期の件	同
18	泊原発の運転「凍結」を求める件	同

# 委員会の動き

## 議会運営委員会

○6月21日(木) 午後1時23分、議会運営委員会室において開議、午後1時30分散会

委員長 岩本 允(自民)

- ① 委員長から、元道議会議員西野吉一氏の逝去(函館市選出、第15期～第17期在職、4月8日逝去)、元道議会議員窪田長松氏の逝去(函館市選出、第13期～第16期在職、6月6日逝去)及び深川市選出の平田市郎議員(民政)の逝去(4月12日)について、議長から弔意を表した旨を報告。故平田市郎議員に対する追悼演説について、第2回定例会招集日の本会議において、大野新生議員(自民)が行うことを了承。
- ② 補欠選挙の当選報告について、6月3日執行の深川市北海道議会議員補欠選挙において、水野重男氏が当選した旨を報告。補欠当選議員については、第2回定例会招集日の本会議において議長が紹介し、新議員は起立一礼し、他の議員は拍手で答える例となっていることを了承。
- ③ 会派異動届の提出について、6月5日付けをもって、民政クラブ議員会長から水野重男議員が入会し、所属議員が5名となった旨届け出があったことを報告。各会派議員数は自民48人、社会40人、公明7人、民政5人、共産4人、無所属1人、欠員5人となったことを報告。
- ④ 補欠当選議員の議席の指定について、従前の例により配付議席表のとおり議席の一部を変更し、指定することを決定。  
本件については、第2回定例会招集日の本会議において議決することを了承。
- ⑤ 常任委員の委員会所属変更について、葛健二 商工労働観光委員(民政)から議長に対し、農政委員に所属変更したい旨申し出があ

り、第2回定例会招集日の本会議において、申し出のとおり委員会の所属を変更することを決定。

- ⑥ 補欠当選議員の常任委員選任について、水野重男議員(民政)を第2回定例会招集日の本会議において、商工労働観光委員に指名選任することを決定。
- ⑦ 特別委員の補欠選任について、欠員中の交通安全対策特別委員の補充については、水野重男議員を第2回定例会招集日の本会議において補欠選任することを決定。
- ⑧ 第2回定例会の招集期日を6月29日とすること、会期は20日間とすることを決定。
- ⑨ 総務部長から、第2回定例会の提出予定案件について説明。
- ⑩ 第2回定例会の日程について、次のとおり取り進めることを決定。

### ▽ 第2回定例会

6月29日 本会議(提案説明)

6月30日

～7月3日 休会

7月4日・5日 本会議(代表質問)

6日 本会議(一般質問)

7日・8日 休会

9日・10日 本会議(一般質問)

11日 本会議(一般質問、予算・企業会計決算特別委員会設置)

12日～17日 休会

18日 本会議

- ⑪ 代表質問について、順位は社会、自民、公明、民政、共産の順とすることを了承。代表質問の各会派の発言時間の使用状況について報告。

○6月28日(木) 午前11時23分、議会運営委員会室において開議、午前11時27分散会

委員長 岩本 允(自民)

- ① 総務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 代表質問の通告について、7月2日正午までに提出することを了承。
- ③ 一般質問について、順位は従前の例により

取り進めることを了承。通告は7月4日正午までに提出することを了承。

- ④ 農政委員会において要望意見案の発議が予定されており、提出された場合、明日の本会議において議決する扱いとすることを決定。

大橋晃委員（共産）から、農政委員会からの要望意見案に関連して共産党としても要望意見案を提出する予定である旨を発言。

- ⑤ 議案調査のため、6月30日から7月3日まで休会し、4日再開することを決定。  
⑥ 6月29日の本会議の議事順序については、明日、協議することを了承。

○6月29日（金） 午前9時56分、議会運営委員会室において開議、午後零時8分散会

委員長 岩本 允（自民）

- ① 意見案第1号ないし第3号の提出があったことを報告。

綿貫健輔委員（自民）から、共産党に対し農政委員会から提出された意見案2件に賛成し、なおかつ、同趣旨の意見書案（意見案第3号）を共産党として提出する理由、取扱い等について質疑、意見等があり、各委員の意見交換等協議の結果、意見案第3号の取扱いについては本会議休会中改めて協議すること、本日の本会議は日程第1（議席の一部変更並びに補欠当選議員の議席指定の件）、日程第2の議事並びに平田市郎議員（民政）に対する追悼演説、黙祷を行い、一旦休会することを決定。午前10時9分休憩、午後零時5分再開。

- ② 委員長から、意見案第3号の取扱いについて、先程、理事会で協議した結果、各会派の意見は、本意見案に対する共産党の対応は議会運営上、適当ではないとの意見が大勢であった。委員長の判断としては、議会運営の検討事項の中で検討することとし、極めて異例の扱い、前例としないこととして、意見案第1号ないし第3号については、再開後の本会議において追加日程として上程し、議決する扱いにすることをはかり、異議なく決定。  
③ 再開後の本会議の議事順序について、事務局説明のとおり取り進めることを決定。

○7月4日（水） 午前9時45分、議会運営委員会室において開議、午後4時24分散会

委員長 岩本 允（自民）

- ① 委員長から、民政クラブから提出のあった役員の異動届について報告。（副会長水野重男議員、政策審議委員長葛健二議員、副幹事長兼政策審議副委員長辞任葛健二議員）  
② 請願第170号については、本日の本会議において、エネルギー問題調査特別委員会に付託することを決定。  
③ 代表質問の通告（5人）について報告。  
④ 代表質問の進め方について、本日2人、明日3人行うことを決定。午前9時48分休憩、午後4時23分再開。  
⑤ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることを決定。

○7月5日（木） 午前9時43分、議会運営委員会室において開議、午後4時11分散会

委員長 岩本 允（自民）

- ① 総務部長から、昨日の畠山博議員（自民）の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言。  
② 一般質問の通告（15人）について報告。  
③ 一般質問の各会派内における順位等について、変更がないことを確認。個人別順位について、議事課長説明のとおりとすることを決定。  
④ 一般質問の進め方については、改めて協議することを了承。午前9時46分休憩、午後4時10分再開。  
⑤ 総務部長から、畠山議員の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言の後、本日の本会議は、この程度にとどめ延会することを決定。

○7月6日（金） 午前9時44分、議会運営委員会室において開議、午前11時45分散会

委員長 岩本 允（自民）

- ① 総務部長から、7月4日の畠山議員の再質問に対する答弁準備になお時間を要する旨発言

の後、午前9時45分休憩、午前11時43分再開。

- ② 総務部長から、畠山議員の再質問に対する答弁準備ができた旨発言の後、本日の本会議は、畠山議員の再質問に対する知事の答弁から入ることを決定。
- ③ 代表質問について、本日は畠山議員の継続から3人、9日は1人行うことを決定。
- ④ 一般質問について、9日、代表質問1人終了後2人、10日7人、11日6人の予定で取り進めることを決定。
- ⑤ 議案調査のため、7月7日休会、7月9日午後1時再開することを決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることを決定。

○7月9日（月） 午後零時33分、議会運営委員会室において開議、午後零時36分散会  
委員長 岩本 允（自民）

- ① 総務部長から、追加提出予定案件について説明の後、明7日の追加提出について了承。
- ② 一般質問の通告内容等の変更について、了承。
- ③ 本日の本会議について、代表質問1人、一般質問2人の予定で行うことを了承。
- ④ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることを決定。

○7月10日（火） 午前9時50分、議会運営委員会室において開議、午前9時53分散会  
委員長 岩本 允（自民）

- ① 総務部長から、追加提出予定案件について説明の後、本日の本会議冒頭において、知事の提案説明を行うことを決定。
- ② 一般質問の通告内容等の変更等について了承。
- ③ 本日の本会議について、本日は一般質問9人の予定であったが、7人行う予定で取り進めることとし、その後の進め方については、明日改めて協議することを決定。
- ④ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることを決定。

○7月11日（水） 午前9時45分、議会運営委員会室において開議、午前9時48分散会  
委員長 岩本 允（自民）

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 一般質問の進め方について、当初日程上一般質問は本日までとなっているが、明12日まで行うこととし、本日5人、明日3人の予定で取り進めることを決定。
- ③ 総務部長から、向田副知事が自治大臣の来道に際し、本道の地域振興対策について、要請活動などを行う必要があるため、本日の本会議を欠席したい旨発言の後、了承。
- ④ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることを決定。

○7月12日（木） 午前9時41分、議会運営委員会室において開議、午後4時33分散会  
委員長 岩本 允（自民）

- ① 一般質問の通告内容等に変更がないことを確認。
- ② 本日の本会議について、一般質問4人行うことを了承。
- ③ 予算及び企業会計決算特別委員会について、予算特別委員会の各会派別分科委員数については、各会派間の調整の結果、配付の協議事項のとおり決定した旨報告。両特別委員の選任について、配付名簿のとおり選任することを了承。
- ④ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることを決定。
- ⑤ 各委員会付託議案調査のため、7月13日から17日まで休会し、18日再開することを決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることに決定。午前9時44分休憩、午後4時31分再開。
- ⑦ 委員長から、決議案第1号の提出があったこと及び議長から本件の取扱いについて議運で協議するよう求められた旨を報告。本件の取扱いについて、理事会で協議中であり、な

お時間を要するため、本日の本会議はこの程度にとどめ、延会することを決定。

- ⑧ 休憩前の委員会において、明日以降の休会を決定したが、明日も本会議を開くことを決定。

○7月13日（金） 午前10時10分、議会運営委員会室において開議、午後1時46分散会

委員長 岩本 允（自民）

- ① 決議案第1号の取扱いについて、綿貫健輔委員（自民）から、その後の協議の状況について、なお時間を要する旨報告。谷川英雅委員（社会）及び大橋晃委員（共産）から、決議案の扱いとは別に一般質問を進めるよう意見等があり、委員長から、本件については、なお時間を要する見込みである旨発言の後、午前10時14分休憩、午後1時45分再開。
- ② 決議案の取扱い及び本会議の進め方について、綿貫委員から、一般質問に入る準備が出てきている旨報告。委員長から、決議案の取扱いについては、なお時間を要する見込みであり、本日の本会議は一般質問3人を行った後、予算及び企業会計決算特別委員会を設置し、委員を選任、残余の案件を各委員会に付託することを決定。
- ③ 各委員会付託議案審査のため、7月16日から17日まで休会し、18日再開することを決定。

○7月18日（水） 午前9時47分、議会運営委員会室において開議、午後4時13分散会

委員長 岩本 允（自民）

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、いずれも議了していない旨を報告の後、午前9時48分休憩、午後4時12分再開。
- ② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、いずれも議了していない旨を報告。
- ③ 決議案第1号の取扱いについて、なお時間を要することを報告。
- ④ 委員長から、今期定例会の会期は本日まで

となっているが、本日中に議了することは困難なため、今期定例会の会期を7月19日まで1日間延長することを決定。

○7月19日（木） 午前9時48分、議会運営委員会室において開議、午後4時30分散会

委員長 岩本 允（自民）

- ① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、いずれも議了していない旨を報告。午前9時49分休憩、午後4時29分再開。
- ② 委員長から、各委員会付託議案の審議状況について、いずれも議了していない旨、及び決議案の取扱いについてもなお時間を要する旨を報告。
- ③ 委員長から、今期定例会の会期を7月20日まで1日間延長することについて、正副議長に対し話したところ、各会派において精力的に議事を進めるよう、また、会期延長の件については了承する旨の話があったことを報告の後、会期を1日間延長することを決定。

○7月20日（金） 午後4時26分、議会運営委員会室において開議、午後9時15分散会

委員長 岩本 允（自民）

- ① 本日の本会議について、取りあえず会議時間を延長することを決定。午後4時27分休憩、午後9時11分再開。
- ② 委員長から、各委員会付託議案の審議を議了したことを報告。
- ③ 企業会計決算特別委員会において審査中の報告第46号ないし第51号については、本日の委員会において、継続審査とすることに決定した旨報告。
- ④ 前会より継続審査中の報告第3号について、本日の決算特別委員会において、継続審査とすることに決定した旨報告。
- ⑤ 前会より継続審査中の決議案第6号及び意見案第5号について、本日のエネルギー問題調査特別委員会において、継続審査とすることに決定した旨、本件については、共産党から継続審査とすることに反対である旨の意思表示があったことを報告。

本件については、閉会中継続審査に付することについて、本会議で起立により採決することに決定。

- ⑥ 総務部長から、本日、追加提出予定の案件について説明の後、本日の本会議において、議決する扱いとすることを了承。
- ⑦ 委員長から、決議案の取扱いについて、決議案第2号の提出があったこと、議長から本件の取扱いについて、議連において協議するよう話があった旨を報告。理事会において、すでに提出されている決議案第1号も含めて協議した結果、(1)いずれも本日の本会議に上程し、委員会付託を省略のうえ、議決すること、(2)趣旨説明は、決議案第1号について渋谷澄夫議員（社会）、決議案第2号について大橋晃議員（共産）、(3)質疑は、決議案第1号について酒井芳秀議員（自民）、決議案第2号について大橋晃議員（共産）、(4)討論は、決議案第1号について、高橋康之議員（自民）、伊藤武一議員（公明）、決議案第2号について、神本三也議員（社会）、久田恭弘議員（自民）、山根泰子議員（共産）、以上の予定で取り進めることに意見が一致した旨を報告。

本件については、理事会決定のとおり取り進めることに決定。

- ⑧ 意見案第4号ないし第6号の提出があったことを報告の後、本日の本会議において議決する扱いとすることを了承。
- ⑨ 関係委員会から審査結果報告のあった請願について、本日の本会議において議決する扱いとすることを了承。
- ⑩ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることを決定。

○7月21日（土） 午前10時13分、議会運営委員会室において開議、午前10時14分散会  
委員長 岩本 允（自民）

- ① 委員長から、議会運営に関する検討事項について、昨年7月25日以来理事会等において検討を重ねた結果、先程の理事会で配付の「議会運営に関する決定事項」として新たに申し合わせをし、第3回定例会から実施する

こととした旨を報告。本件については、理事会の協議結果のとおりすることを決定。その他の検討事項については、今後とも理事会で検討する旨を発言。

議会運営に関する決定事項（確認事項）

（平成2年7月21日決定  
平成2年第3回定例会実施）

- 議会運営の決定に関する事項  
議会運営に関する事項については、議会運営委員会の出席委員の同意を得て決定するが、議会運営委員会規定第10条第1項ただし書きの規定の運用を確認する。
- 本会議の質問等に関する事項  
答弁調整等で、審議の中断が長時間にわたる場合には、現行の議運確認事項を十分活用し、当該問題を保留し、以降の議事を行う。（再確認）
- 常任委員会に関する事項
  1. それぞれの委員会に付託された請願・陳情については積極的に審査を行う。
  2. 審議の促進を図るため、具体的な事項については、所管課長等が答弁を行うことが出来る。
- 予算特別委員会に関する事項  
審議の促進を図るため、具体的な事項については、所管課長等が答弁を行うことが出来る。
- 意見案・決議案等に関する事項  
効率的な議会運営を図るため、意見案・決議案は、早期に調整を行うとともに、提出期限は、会期最終日の2日前を原則とする。
- 請願・陳情に関する事項  
請願人から申し出がある場合、委員会の判断により必要に応じて口頭趣旨説明を受ける。

# 常任委員会

## 総務委員会

○4月3日(火) 午後1時27分 第5委員会室  
において開議、午後1時29分  
散会  
委員長 木本 由孝(自民)

### 一般議事

- ① 総務部長から、地方税法の改正に伴う道税条例の改正に係る専決処分について報告。
- ② 委員長から、道外調査の実施についてはわかり、異議なく決定。派遣委員については、委員長に一任することとした。

○5月8日(火) 午後2時24分、第5委員会室  
において開議、午後2時27分  
散会  
委員長 木本 由孝(自民)

### 一般議事

- ① 総務部長から、平成2年度北海道一般会計補正予算並びに留萌合同庁舎改築工事の請負契約の専決処分について説明。
- ② 警察本部総務部長から、釧路運転免許試験場庁舎新築工事の請負契約の専決処分について説明。
- ③ 委員長から、道内調査の実施についてはわかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○6月5日(火) 午後1時24分、第5委員会室  
において開議、午後1時27分  
散会  
委員長 木本 由孝(自民)

### 一般議事

- ① 総務部長から、平成2年度一般会計補正予算及び留萌合同庁舎改築工事の請負契約の締結の専決処分について報告。
- ② 警察本部総務部長から、釧路運転免許試験場庁舎の新築工事の請負契約の締結の専決処分について報告。

○6月28日(木) 午前10時22分、第5委員会室  
において開議、午前10時41分  
散会、委員長事故のため、  
副委員長 柏倉 勝雄(社会)

### 一般議事

- ① 総務部長及び企画振興部長から、第2回定例会提出予定案件について、それぞれ説明。
- ② 総務部長から、外務公務員に関し、古川清北海道担当大使の解任について報告。
- ③ 三木勝夫委員(自民)から、北海道議会議員選挙におけるポスターの掲示場について、選挙ポスター掲示場の種類、ポスターの掲示場の制度が設けられた時期と趣旨、この制度を採用している都道府県数、秋田県の現在の状況、道内市町村における実施状況、掲示場を設けた場合の設置数、設置条例での減数規定している都道府県数、設置した場合の数、現行と比較して影響の想定、ポスター掲示場制度を設けた場合の道費負担、掲示場制度条例化等について  
質疑があり、企画振興部長から答弁。

○7月9日(月) 午後零時40分、第5委員会室  
において開議、午後零時41分  
散会  
委員長 木本 由孝(自民)

### 一般議事

- 総務部長から、第2回定例会追加提出予定案件について説明。

○7月20日(金) 午前11時56分、第5委員会室  
において開議、午後12時6分  
散会  
委員長 木本 由孝(自民)

### 付託案件の審査

- ① 議案第3号(北海道職員等の旅費に関する条例等の一部を改正する条例案)、議案第4号(北海道恩給条例臨時特例等の一部を改正する条例案)、議案第5号(北海道税条例の一部を改正する条例案)、議案第6号(低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案)を一括議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ② 報告第2号（北海道税条例の一部を改正する条例に係る専決処分）、報告第3号（工事請負契約の締結に関する専決処分）、報告第18号（専決処分報告につき承認を求める件）を一括議題とし、総務部長及び警察本部総務部長からそれぞれ説明の後、いずれも異議なく原案のとおり承認議決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 一 般 議 事

- ① 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、消防学校視察実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。

○7月21日（土） 午前10時24分、第5委員会室において開議、午前10時35分散会  
委員長 木本 由孝（自民）

#### 一 般 議 事

- ① 総務部長、企画振興部長及び警察本部総務部長から、平成3年度北海道開発関係予算に関する要望事項等を説明。
- ② 委員長から、平成3年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、さきに実施した三重県及び和歌山県における行財政状況等調査の概要について報告書により報告。異議なく了承。

### 生 活 福 祉 委 員 会

○4月3日（火） 午後1時30分、第9委員会室において開議、午後1時48分散会  
委員長 伊藤 武一（公明）

#### 一 般 議 事

- ① 生活福祉部長から、国民文化祭の開催要望について報告。
- ② 川崎守委員（共産）から、和光学園の移転計画に関し、移転先の決定の有無、建物改築中における入所者の収容先、移管先の法人、父兄会及び市議会の了解の有無、民間移管による入所者の処遇上の変化、和光学園の年間運営費、民間移管した場合の運営費補助の考え方、入所者の負担金についての考え方、施設卒園者の就職状況、開所以来の入所者の有無、入所期間の有無等について質疑、意見及び要望があり、生活福祉部長から答弁。

○5月8日（火） 午後1時18分、第9委員会室において開議、午後2時32分散会  
委員長 伊藤 武一（公明）

#### 一 般 議 事

- ① 委員長から、道内調査の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 生活福祉部長から、北海道二十一世紀高齢社会ビジョン策定について報告。
- ③ 小山誠司委員（社会）から、和光学園の民間移管に関し、ノーマライゼーションの理念に基づく精神薄弱者の社会的自立に向けた施策の展開状況、精神薄弱者更正施設の最近の整備状況、整備の水準についての考え方、施設整備率について全国五番目までの都道府県名、道立の精神薄弱更正施設がなくなることについての考え方、父兄会、小樽市などの関係者との協議状況等

川崎守委員（共産）から、(1)高齢者保健福祉十か年戦略に関し、ホームヘルパーについて北海道における増員計画数、国の増員計画に対する道の対応、ホームヘルパーの役割、全道における料金、北海道の配置状況、札幌市の配置数、市町村に対する設置、配置目標の指導、派遣サービス対象者の年齢制限、ショートステイ事業の利用率及び道内で実施している特養ホーム数、全道における料金、所得による料金格差の有無、本人負担の料金、

デイ・サービスセンターの全道の設置状況、札幌市の設置状況、在宅介護支援センターの内容、全道の設置計画、介護手当の道内市町村の実施状況、(2)社会福祉法人北海道福心会の補助金問題に関し、補助金の返還に至った経緯、返還補助金の使用内訳、施設の設置による超過負担と補助金の目的外使用の関係、完成後の検査等について  
質疑、意見及び要望があり、生活福祉部長から答弁。

○6月5日(火) 午後1時22分、第9委員会室において開議、午後1時48分散会  
委員長 伊藤 武一(公明)

#### 一般議事

- ① 委員長から、道外調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 生活福祉部長から、平成2年度サハリン地域(樺太)募参について報告。
- ③ 川崎守委員(共産)から、(1)緊急通報システムに関し、老人の孤独死の実態、緊急通報システムの実施状況、緊急通報システムの整備計画、高齢者の地域ケア・モデル推進事業の概要、モデル推進事業の該当要件及び市町村の受け入れ体制、今後の取り組みについての考え方、(2)へき地保育所の問題に関し、へき地保育所に対する認識、へき地保育所の実態、補助金についての考え方等について  
質疑、意見及び要望があり、生活福祉部長から答弁。

○6月28日(木) 午前10時30分、第9委員会室において開議、午前10時45分散会  
委員長 伊藤 武一(公明)

#### 一般議事

- ① 生活福祉部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 川崎守委員(共産)から、テレビ・ラジオの難視聴に関し、道内におけるテレビ・ラジオの難視聴の実態、難視聴対策の取り組み、苫小牧市、えりも町などにおける、FM・A

Mラジオの難聴解消対策の進め方、檜山管内におけるラジオの難聴解消の進捗状況等について

質疑、意見及び要望があり、生活福祉部長から答弁。

○7月20日(金) 午前11時55分、第9委員会室において開議、午後零時30分散会  
委員長 伊藤 武一(公明)

#### 付託案件の審査

○ 議案第8号(北海道立和光学園設置条例を廃止する条例案)及び議案第17号(財産の処分に関する件)を一括議題とし、生活福祉部長から説明の後、

川崎守委員(共産)から、和光学園に関し、父兄の不安に対する説明の経過、園生の不安や動揺の状況、民間移管のプラス面等について

質疑があり、生活福祉部長から答弁の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数をもって原案のとおり可決することに決定。

付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 請願、陳情の審査

請願

- 第161号 精神薄弱者に対する運賃等の障害者割引の適用に関する件(採択)  
第171号 白内障内レンズの保険適用に関する件(採択)  
第172号 道立和光学園の存続を求める件(不採択)

委員長から付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

#### 一般議事

- ① 委員長から、精神薄弱者等の旅客運賃等割引制度の拡大に関する要望意見案及び白内障の人工水晶体(眼内レンズ)に関する要望意見案の発議については、異議なく決定。
- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 生活福祉部長から、道民生活安定条例施行

状況について説明。

#### 本日聴取した請願

白内障眼内レンズの保険適用に関する件  
白石区民の要求を実現する連絡会代表

○7月21日(土) 午前10時48分、第9委員会室  
において開議、午前11時15分  
散会  
委員長 伊藤 武一(公明)

#### 一般議事

- ① 生活福祉部長から、平成3年度北海道開発  
予算重点要望について説明。
- ② 生活福祉部長から、平成2年度サハリン地  
域(樺太)墓参に関する件について報告。
- ③ 川崎守委員(共産)から、マリンスポーツ  
に関し、道内におけるマリンスポーツの実  
態、海水浴場におけるマリンスポーツの事故  
状況、小樽、石狩、有珠の海水浴場を所管す  
る自治体におけるマリンスポーツの事故対  
策、道の海水浴場の事故対策及びマリンスポ  
ーツの事故対策の現状と今後の取り組み、指  
導要綱違反者に対する措置、監視員の権限、  
道の要綱改正の必要性等について  
質疑、意見及び要望があり、生活福祉部長か  
ら答弁。

### 保健環境委員会

○4月3日(火) 午後2時、第3委員会室にお  
いて開議、午後2時30分散会  
委員長 岡本 栄太郎(社会)

#### 一般議事

- ① 保健環境部長から、俱多楽湖の水質汚濁に  
係る環境基準等の水域類型の指定について報  
告。
- ② 大橋晃委員(共産)から、診療放射線技師  
の問題に関し、道内における放射線技師の全  
国対比就業状況、ベット数に係る就業状況、  
道立保健所における充足状況、道内の一般診  
療所でレントゲン装置を設置している施設数  
及び放射線技師が就業している施設数、道立  
診療所での放射線技師の就業状況及びレント  
ゲン装置の設置状況、道として道内に放射線

技師を必要と考える数とその調査方法、全  
国、全道で放射線技師を養成する施設数と養  
成数の推移、放射線技師の業務についての認  
識、北大医療短大卒業生数に対する求人数、  
放射線技師の養成対策等について  
質疑、意見及び要望があり、保健環境部長か  
ら答弁。

#### 本日聴取した請願 請願

第162号 造血機能障害者対策の充実に関  
する件

北海道骨髄バンク推進連絡協議会代表

○5月8日(火) 午後1時22分、第3委員会室  
において開議、午後2時30分  
散会  
委員長 岡本 栄太郎(社会)

#### 一般議事

- ① 委員長から、道外調査の実施についてはか  
り、異議なく決定。派遣委員等については、  
委員長に一任することとした。
- ② 大橋晃委員(共産)から、(1)名寄市立総合  
病院の牛乳点滴死亡事故に関し、医療事故に  
ついての受け止め、医療事故の背景につい  
ての考え、看護婦の時間外勤務の実態、看護婦  
の人手不足についての認識、看護婦の医療法  
上の標準数充足状況、基準看護の状況、基準  
看護の病院が少ない原因、2人未満の夜勤、  
二・八体制が実施されていない施設数、月8  
日を越える夜勤の実態、看護婦の退職状況、  
看護婦不足に対する患者の声についての認  
識、看護学校志願者の倍率、平成6年までの  
養成定員増と充足についての考え、潜在看護  
婦の再就職者の内三交代勤務ができた数、看  
護婦の労働条件の整備、需給計画の積算根  
拠、二・八体制の全病院での実施時期、需給  
計画の見直しについての考え、見直しの内容  
及び時期、労働条件の改善及び定着率の向上  
を見込んだ見直し、(2)石狩町のミズバシ  
ョウ群生地の保全問題に関し、北海道自然環境保  
全指針により、すぐれた自然として指定して  
いる当事者としての認識、開発局への保全の  
働き掛け等について  
質疑、意見及び要望があり、保健環境部長か  
ら答弁。

- 6月5日(火) 午後1時25分、第3委員会室  
において開議、午後2時26分  
散会  
委員長 岡本 栄太郎(社会)

#### 一般議事

- ① 保健環境部長から、医療廃棄物処理指導要領について報告の後、

大橋晃委員(共産)から、医療廃棄物の分類による混乱の心配、廃棄物の処理費の試算、道立病院における医療廃棄物及び感染性廃棄物の年間の推定発生量、感染性廃棄物の処理手数料の試算及び財政的な裏付け、病院等の費用負担増に対する助成を国に要望する考え、清掃委託業者の指導対策、市町村への財政援助などについての考え、感染性廃棄物の道外搬出についての対応等について質疑、意見及び要望があり、保健環境部長から答弁。

- ② 保健環境部長から、道立松前病院の松前町への移管について報告の後、

大橋晃委員(共産)から、道立病院としての充実の要望に応えず、移管を前提とした拡充の理由、サブ医療圏についての考え方、松前病院の増床に対する見解、病床を増床する根拠及び見通し、特例六項目の具体的検討内容等について質疑、意見及び要望があり、保健環境部長から答弁。

- ③ 大橋晃委員(共産)から、美瑛富士スキー場計画に関し、第1種特別地域に該当する面積、北海道自然環境保全指針との関連、第1種特別地域でのスキー場開発についての考え等について質疑、意見及び要望があり、保健環境部長から答弁。

- 6月28日(木) 午前10時25分、第3委員会室  
において開議、午前11時散会  
委員長 岡本 栄太郎(社会)

#### 一般議事

- ① 保健環境部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。  
② 保健環境部長から、空知支庁管内宮島沼におけるハクチュウ及びマガンの鉛中毒につい

て報告。

- ③ 大橋晃委員(共産)から、札幌台病院に関し、医師、看護婦不足の現状、緑營グループについての認識、公的性格の強い医療機関である医療生協を、営利企業が経営することに対する見解、厚生省通達に基づく調査、確認の有無、今後の対応等について質疑、意見及び要望があり、保健環境部長から答弁。

- 7月20日(金) 午前11時40分、第3委員会室  
において開議、午後零時15分  
散会  
委員長 岡本 栄太郎(社会)

#### 付託案件の審査

- 議案第7号(北海道病院事業条例の一部を改正する条例案)を議題とし、保健環境部長から説明の後、

大橋晃委員(共産)から、松前病院の移管に関し、移管した場合における医師給与の赤字補填、増床承認申請の状況と見通し等について

質疑があり、保健環境部長から答弁の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数をもって原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 請願、陳情の審査

##### 請願

第162号 造血機能障害者対策の充実に関する件 (採択)

委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申出をすることをはかり、異議なく決定。

#### 一般議事

- ① 保健環境部長から、公害の状況等に関する年次報告の概要について説明。  
② 委員長から、造血機能障害者対策の充実についての要望意見案の発議についてはかり、異議なく決定。  
③ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることをはかり、異議なく決定。

○7月21日(土) 午前10時20分、第3委員会室  
において開議、午前10時30分  
散会  
委員長 岡本 栄太郎(社会)

#### 一般議事

- ① 保健環境部長から、平成3年度北海道開発関係予算重点要望事項について説明。
- ② 委員長から、平成3年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施並びに造血機能障害者対策の充実についての要望意見案に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 保健環境部長から、暑寒別天売焼尻国定公園の指定について説明。

### 商工労働観光委員会

○4月3日(火) 午後1時31分、第8委員会室  
において開議、午後1時40分  
散会  
委員長 萩上 元春(社会)

#### 一般議事

- ① 委員長から、道内調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 商工労働観光部長から、平成元年工場立地動向調査について報告。

○5月8日(火) 午前10時35分、第8委員会室  
において開議、午前10時53分  
散会  
委員長 萩上 元春(社会)

#### 一般議事

- ① 委員長から、中央折衝の概要について報告、異議なく了承。
- ② 商工労働観光部長から、北海道観光産業経済効果調査の概要について報告。

○6月5日(火) 午後1時18分、第8委員会室  
において開議、午後1時27分  
散会  
委員長 萩上 元春(社会)

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した道内調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 商工労働観光部長から、苫小牧東部工業基地における用途地域の一部変更について報告。

○6月28日(木) 午前10時42分、第8委員会室  
において開議、午前11時12分  
散会  
委員長 萩上 元春(社会)

#### 一般議事

- ① 委員長から、道内調査の実施については、異議なく決定、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 商工労働観光部長から、第2回定例会提出予定案件について説明の後、  
大野新生委員(自民)から、食品加工センターの建設、道内企業の育成のための措置について  
質疑があり、商工労働観光部長から答弁。
- ③ 商工労働観光部長から、平成元年度本道観光客入込み調査の概要報告の後、  
藤井猛委員(自民)から、観光客の増加の原因、「はまなす国体」終了後の観光客の入込み実態について  
質疑があり、商工労働観光部長から答弁。
- ④ 菅原功一委員(自民)から、職業訓練の実態、技術専門学院の再編成の理由、学生数の減員と室蘭及び滝川高等技術専門学院の実績、再編整備の現況と今後の対応等について  
質疑があり、商工労働観光部長から答弁。

○7月6日(金) 午前11時8分、第8委員会室  
において開議、午前11時14分  
散会  
委員長 萩上 元春(社会)

#### 一般議事

- ① 委員長から、水野重男議員(民政)が6月29日委員に補充選任された旨報告。
- ② 委員長から、水野重男委員(民政)を理事に選任することをはかり、異議なく決定。  
委員長から、議席については、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

- 7月20日(金) 午前11時45分、第8委員会室  
において開議、午前11時50分  
散会  
委員長 萩上 元春(社会)

#### 付託案件の審査

- 議案第11号(工事請負契約の締結に関する  
件)を議題とし、商工労働観光部長から説明  
の後、異議なく原案のとおり可決することに  
決定。

#### 一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、  
今後付記されるものを含め、閉会中継続審査  
の申し出をすること、及び所管事務につい  
て、閉会中継続調査の申し出をすることをほ  
かり、異議なく決定。

- 7月21日(土) 午前10時21分、第8委員会室  
において開議、午前11時30分  
散会  
委員長 萩上 元春(社会)

#### 一般議事

- ① 商工労働観光部長から、平成3年度北海道  
開発予算要望の概要について説明。  
② 商工労働観光部長から、第3回観光立県推  
進地方会議の開催結果報告の後、

藤井猛委員(自民)から、観光宣言に関し、  
観光宣言が議会を軽視した一方的行為である  
との考えに対する見解、交通アクセスの新幹  
線誘致とリニアの開設などの見解、宣言の発  
表を急いだ理由、当委員会とのコンセンサス  
の経緯、推進会議の議事録の呈示について

(関連して、青木延男委員(社会)から、  
当委員会とのコンセンサスについて

岩崎守男委員(社会)から、都道府県レベ  
ルの「宣言」の他府県の例示と宣言素案の基  
本的な考え方、民活先行の姿勢について

浅野俊一委員(公明)から、本会議におけ  
る知事の発言について

菅原功一委員(自民)から、宣言の実現性  
と今後の取り組みの姿勢、交通アクセスに関  
する国への働きかけ、本道の観光サービスの  
低下への対策と全国キャンペーンについて)  
質疑、意見及び要望があり、商工労働観光部  
長から答弁。

## 農政委員会

- 4月3日(火) 午後1時28分、第7委員会室  
において開議、午後2時13分  
散会  
委員長 小野寺 勇(自民)

#### 一般議事

- ① 委員長から、さき実施した酪農・畜産振  
興施策に関する中央折衝の概要について報告  
異議なく了承。

- ② 土田弘委員(社会)から、酪農経営に関し、  
加工原料乳の平成2年度の対前年売上額の状  
況、加工原料乳の生産費及び指定乳製品の販  
売経費に係る対前年比の状況、食料需給表に  
よる特定乳製品の生乳換算の国内消費仕向  
量、我が国の指定乳製品の安定指標価格とE  
Cの乳製品の介入価格との比較、我が国の加  
工原料乳の保証価格とECの加工原料乳目標  
価格との比較、指定乳製品及び加工原料乳の  
内外価格差縮小の努力、農業純生産の減小傾  
向、農業純生産を高めるための道の施策の考  
え方等

工藤啓二委員(公明)から、北海道産米の  
生産及び流通に関し、水稻の地域別栽培品種  
の指定による作付指導、きさら397の作付適  
地、品種ごとの食味均一化の指導、きさら  
397の道外流通の範囲、きさら397以外の品種  
及び道産米全体の宣伝についての道の対応等  
について

質疑及び意見があり、農政部長及び酪農畜産  
課長から答弁。

- 5月8日(火) 午後1時13分、第7委員会室  
において開議、午後1時19分  
散会  
委員長 小野寺 勇(自民)

開議に先立ち、委員長から、故平田市郎副委  
員長の逝去について報告の後、弔意を表し起立  
により黙祷。

#### 一般議事

- ① 委員長から、道内における農業事情調査の  
実施については、異議なく決定。派遣委員  
等については、委員長に一任することとした。

- ② 農政部長から、農作業の進捗状況について報告。

○6月5日(火) 午後1時17分、第7委員会室において開議、午後1時23分散会  
委員長 小野寺 勇(自民)

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した平成2年産生産者麦価に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。  
② 農政部長から、北海道果樹農業振興計画について報告。

○6月28日(木) 午前10時25分、第7委員会室において開議、午前11時5分散会  
委員長 小野寺 勇(自民)

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。  
② 委員長から、北海道の稲作に関する要望意見案及び農畜産物市場解放阻止に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。  
③ 委員長から、北海道の稲作及び農畜産物市場解放阻止に関する中央折衝の実施については、委員長に一任することとした。  
④ 農政部長から、平成2年産麦の政府買入価格について報告。  
⑤ 農政部長から、ホッカイドウ競馬札幌専用場外発売所の開設に関する経過等について報告の後、

工藤啓二委員(公明)から、ホッカイドウ競馬札幌専用場外発売所の開設に関し、急いで開設する理由、中央競馬会札幌場外発売所が使用できなくなる理由、現開設予定地を選定した経過と理由、反対派住民の反対理由に対する具体的な対応、中央競馬会のウィンズ札幌賃借の検討の意向、地域の経済効果についての考え方、賃借方式とした理由、経営悪化した場合の考え方等について質疑、意見及び要望があり、競馬管理室長か

ら答弁。

○6月29日(金) 午後零時39分、第7委員会室において開議、午後零時42分散会  
委員長 小野寺 勇(自民)

開議に先立ち、委員長から6月29日の本会議において、葛健二議員(民政)が農政委員に所属変更になった旨を報告。

#### 副委員長の互選

- 委員長から、副委員長互選の方法については、高橋文明委員(自民)の動議により指名推選の方法をもって葛健二委員(民政)を副委員長に選出。

○7月20日(金) 午前11時52分、第7委員会室において開議、午前11時54分散会  
委員長 小野寺 勇(自民)

#### 請願、陳情の審査

請願

第168号 コメ輸入自由化阻止を求める件  
(議決不要)

第169号 平成2年産米価引上げに関する件  
(議決不要)

残余の請願、陳情については、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

#### 一般議事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○7月21日(土) 午前10時26分、第7委員会室において開議、午前10時36分散会  
委員長 小野寺 勇(自民)

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した北海道稲作及び農畜産物市場解放阻止に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。  
② 農政部長から、平成3年度北海道開発予算概算要望について説明の後、

吉野之雄委員（社会）から、制度資金に関し基準金利の引下げについて  
質疑及び意見があり、農政部長から答弁。

- ③ 委員長から、平成3年度北海道開発予算概算要望に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

## 建設委員会

- 4月3日（火） 午後1時24分、第4委員会室において開議、午後1時26分散会  
委員長 水岡 薫（自民）

### 一般議事

- 委員長から、道外における建設事情調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- 5月8日（火） 午後1時16分、第4委員会室において開議、午後1時20分散会  
委員長 水岡 薫（自民）

### 一般議事

- 住宅都市部長から、北海道立野幌総合運動公園硬式野球場（RCスタンド建築）建設の工事請負契約締結に係る専決処分について説明。

- 6月5日（火） 午後1時20分、第4委員会室において開議、午後1時27分散会  
委員長 水岡 薫（自民）

### 一般議事

- 住宅都市部長から、道営住宅使用料請求事件の訴えの提起に係る専決処分について説明。

- 6月28日（木） 午前10時27分、第4委員会室において開議、午前10時36分散会  
委員長 水岡 薫（自民）

### 一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、第2回定

例会提出予定案件について説明。

- ② 委員長から、道内調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- 7月20日（金） 午前11時50分、第4委員会室において開議、午後零時散会  
委員長 水岡 薫（自民）

### 付託案件の審査

- ① 議案第9号（空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ② 議案第10号（北海道道の路線の認定に関する件）を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ③ 議案第12号ないし第15号（いずれも工事請負契約の締結に関する件）を一括議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。

- ④ 報告第4号（専決処分報告につき承認を求める件）を議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり承認議決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

### 一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることを、異議なく決定。

- 7月21日（土） 午前10時12分、第4委員会室において開議、午前10時28分散会  
委員長 水岡 薫（自民）

### 一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、平成3年度北海道開発関係予算重点要望事項について説明。

- ② 委員長から、平成3年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

- ③ 委員長から、附属機関の委員の選出については、北海道住宅対策審議会委員に、水岡薫委員長（自民）、永井利幸委員（自民）、山口恵聖委員（社会）、乙川節郎委員（公明）を選出することに異議なく決定。

## 水産林務委員会

- 4月3日（火） 午後1時29分、第2委員会室において開議、午後1時54分散会  
委員長 長岡 寅雄（社会）

### 一般議事

- ① 林務部長から、平成2年度北海道木材需給の見通しについて報告。
- ② 林務部長から、平成2年度緑化行事について報告。
- ③ 委員長から、道外における水産林務事情調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ④ 山根泰子副委員長（共産）から、(1)大島漁港建設に伴うオオミズナギドリ保護に関し、大島漁港の建設計画に至った経緯、同漁港建設計画の内容、オオミズナギドリ保護に対する配慮、(2)奥尻島のブナ林の保護に関し、北海道自然保護協会から函館管林支局長に出されている要望の内容、奥尻島のブナ林に対する認識、ブナ林の農業及び漁業における役割、ブナ林の保存及び育成対策等について質疑、意見及び要望があり、水産部長及び林務部長から答弁。

- 5月8日（火） 午後零時45分、第2委員会室において開議、午後1時15分散会  
委員長 長岡 寅雄（社会）

### 一般議事

- ① 水産部長から、日ソさけ・ます漁業交渉に関する結果について報告。
- ② 水産部長から、国際漁業再編対策について報告。
- ③ 委員長から、さきに実施した森林の復元、

地域林業振興及び国有林野事業の充実に関する中央折衝の概要について、報告書により報告、異議なく了承。

- 6月5日（火） 午後1時26分、第2委員会室において開議、午後3時13分散会  
委員長 長岡 寅雄（社会）

### 一般議事

- ① 委員長から、道内における水産林務事情調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 吉田恵悦委員（公明）から、北朝鮮国籍偽装日本漁船だ捕事件に関し、事件の状況、当該漁船に係る漁船登録手続きへの道の関与、当該漁業会社による北朝鮮への漁業指導に対する道の指導、当該密漁行為の事前の認識、この事件に対する道の指導、今後の見通し等  
山根泰子副委員長（共産）から、同事件に関し、共同漁労事業に係る契約書が水産部に届けられた時期とその時における契約書の合法性の判断、合法性について水産庁に照会した後の対応と水産庁の指示、国内漁業への影響の懸念、漁船登録申請書の記載事項と会社登記に係る事項との相違、確約書を取って漁船登録した例、確約書の履行状況の調査、漁船登録の適切性、漁船登録の際の北村代議士の関与、今後の再発防止の指導、乗組員の釈放に係る今後の対応、最近3年間の北朝鮮からのサケ・マス輸入量、税関当局に対する輸入量調査の要望、当該事件に対する今後の対応等  
西尾六七委員（自民）から、北洋サケ・マス以西船だ捕事件に関し、当該事件発生の関知、当該事件に対する認識と再発防止の決意等  
小池昌委員（社会）から、北朝鮮国籍偽装日本漁船だ捕事件に関し、照宝漁業以外の10隻の漁船登録手続き、だ捕道内船の漁業許可の内容と操業期間以外の操業関係、同種の事案に対する今後の対応等  
山根泰子副委員長（共産）から、ゴルフ場開発に関し、網走湖に流入する河川流域における林地開発を伴うゴルフ場開発計画箇所数、女満別町において国土計画が計画しているゴ

ゴルフ場開発計画と保安林との関連、同計画の規模と林地開発の総量規制の意向、許可の考え方、網走湖の水質保全対策までの間の林地開発の中止の意向、同計画の凍結の考え、同計画に対する漁協の動向と漁業への影響、根室市の別当賀川流域のゴルフ場開発計画地域における造林補助金の補助実績、計画隣接地域の防霧保安林への影響、水産試験場等による風蓮湖の環境調査の実施、根室市におけるゴルフ場開発予定地での市民の森建設構想に対する道の協力の考え、旭川市台場におけるゴルフ場開発に伴う林地開発に伴う環境アセスメント実施の指導等について  
質疑、意見及び要望があり、水産部長、漁政課長及び林務部長から答弁。

○6月28日(木) 午前10時28分、第2委員会室において開議、午前10時40分散会  
委員長 長岡 寅雄(社会)

#### 一般議事

- ① 水産部長及び林務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 山根泰子副委員長(共産)から、林業後継者不足の実態及び林業退職金共済制度の加入状況と加入促進のための指導について  
質疑があり、林務部長から答弁。

○7月20日(金) 午前11時50分、第2委員会室において開議、午後零時5分散会  
委員長 長岡 寅雄(社会)

#### 付託案件の審査

- 議案第2号(北海道立道民の森条例案)を議題とし、林務部長から説明の後、  
山根泰子副委員長(共産)から、道民の森へのアクセス並びに道民の森の管理及び使用料の徴収について  
質疑があり、林務部長から答弁があつて、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 一般議事

- 委員長から、付託の請願・陳情について、

今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり異議なく決定。

○7月21日(土) 午前10時37分、第2委員会室において開議、午前11時8分散会  
委員長 長岡 寅雄(社会)

#### 一般議事

- ① 水産部長及び林務部長から、平成3年度水産林務関係国費予算に係る主要要望事項について説明。
- ② 委員長から、平成3年度水産林務関係国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 山根泰子副委員長(共産)から、(1)旭川市台場におけるゴルフ場開発に関し、林地開発許可の経過、事業者に対する環境保全対策の指導、周辺環境影響等調査の実施結果及び調査事項の範囲、(2)林地開発に関し、昭和63年度及び平成元年度のゴルフ場における林地開発状況、鳥獣保護区における林地開発に対する考え方、監視体制の強化等について  
質疑及び意見があり、林務部長から答弁。

## 文教委員会

○4月3日(火) 午後1時39分、第10委員会室において開議、午後2時27分散会  
委員長 松崎 義雄(自民)

#### 一般議事

- ① 委員長から、道外調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 風早俊男委員(民政)から、三菱南大夕張炭鉱の閉山による影響に関し、影響を受ける高校生の数、そのうち転校を希望する生徒数、昨年閉山した北炭幌内炭鉱の場合の転校生数、転校についての父母の心配に対する方策、離職者対策として新会社の設立計画があ

る美唄に転校する場合の配慮、転入受入れ限度、学力格差への配慮、転出先に希望の学科がない場合の配慮、経済的理由から高等学校への転校を断念する生徒への具体的取り組み

本間喜代人委員（共産）から、私立高校の納付金に関し、値上げの状況、納付金値上げ抑制指導の効果、値上げ決定をしていない4校のうち値上げ希望している校数、父母負担軽減についての取り組み、4万円の値上げをした高校名、北星余市高校への具体的措置、きめ細かな打合せ、指導の有無

中川義雄委員（自民）から、私学の経営難に関し、中学校卒業者数の減少の影響調査の必要性、全道的な高等学校適正配置の中での教育庁の役割等について

質疑、意見及び要望があり、教育長及び学事課長から答弁。

○5月8日（火） 午後1時30分、第10委員会室  
において開議、午後1時47分  
散会

委員長 松崎 義雄（自民）

### 一 般 議 事

① 教育長から、教育庁機構改正について説明。

② 教育長から、室蘭栄高等学校改築第2期工事ほか12件の工事請負契約締結に係る専決処分について説明。

③ 若狭靖委員（自民）から、新教育長計に関し、文化の振興についての道の新長計との整合性、新長計における文化施設の内容、地元での文化施設誘致実現に向けての動きについての認識、釧路・根室圏における文化施設整備の具体的構想の有無、後期実施計画に取り入れるための方策、地元期成会からの要請に対する対応、後期実施計画の策定作業開始時期、地元の要望に応えるよう釧路教育局への指導等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があった。

○6月5日（火） 午後1時25分、第10委員会室  
において開議、午後3時15分  
散会

委員長 松崎 義雄（自民）

### 一 般 議 事

① 教育長から、室蘭栄高等学校改築第2期工事ほか12件の工事請負契約締結に係る専決処分について報告。

② 中崎昭一委員（自民）から、国旗、国歌問題に関し、基本的認識、新学習指導要領における国旗、国歌の取扱い改訂の理由、一部の人たちの国旗、国歌の反対理由、今年4月の入学式における国旗掲揚、国歌斉唱の状況、他府県と比べ実施率の低い理由、今後の見通し及び対応、児童生徒への国歌の指導

（関連して、渋谷澄夫委員（社会）から、国旗・国歌の強制による愛国心、郷土愛育成、国歌としての「君が代」の認識、国歌指導の小・中・高学年ごとのカリキュラム、国歌の教育的意味

本間喜代人委員（共産）から、国歌指導と処罰の問題

中川義雄委員（自民）から、国旗掲揚を実力で阻止した場合の指導

若狭靖委員（自民）から、国旗・国歌指導の決意等について）

相沢武彦委員（公明）から、児童・生徒の健康問題に関し、学校管理下で発生している心臓疾患等による死亡事故の受けとめ、小・中・高等学校における心電図検診の実施状況、道立高校における心電図検査に要する経費及び負担状況、他県における経費負担状況、入学時に全員公費負担としない理由及び検討状況、入学時及び在学中毎年の公費負担による心電図検査の必要性

本間喜代人委員（共産）から、(1)授業料軽減措置に関し、本年度の実施状況、授業料軽減補助金の速やかな交付、軽減措置未実施校の状況、(2)伝統的建造物の保存に関し、道指定の伝統的文化財の補修、拡充移転に対する補助制度等の検討、マンション建設を規制する道条例制定検討の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、教育長及び学事課長から答弁。

○6月28日（木） 午前10時28分、第10委員会室  
において開議、午前10時32分  
散会

委員長 松崎 義雄（自民）

### 一 般 議 事

- 教育長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

○ 7月20日（金） 午前11時55分、第10委員会室  
において開議、午後零時3分  
散会

委員長 松崎 義雄（自民）

### 付託案件の審査

- ① 議案第16号（財産の取得に関する件）を議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 報告第5号ないし第17号（いずれも専決処分報告につき承認を求める件）を一括議題とし、教育長から説明の後、異議なく承認議決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

### 一 般 議 事

- 委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすること、及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをわかり、異議なく決定。

○ 7月21日（土） 午前10時33分、第10委員会室  
において開議、午前11時13分  
散会

委員長 松崎 義雄（自民）

### 一 般 議 事

- ① 教育庁企画管理部長から、平成3年度北海道開発関係予算重点要望事項について説明。
- ② 委員長から、平成3年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 若狭靖委員（自民）から、生徒の体罰問題に関し、神戸の門扉圧死事件の受けとめ、管理を前提とした指導の考え方、体罰の内容、体罰禁止の国による指導、昭和59年の道教委の体罰についての指導通知後の状況、最近の事件にかかる対処等

本間喜代人委員（共産）から、文教施設整備の国の予算に関し、昨年度と今年度の予算額、市町村の小中学校整備事業に対する国の

認定状況、国の認定に対する受けとめ方、市町村の申請を道教委で延期した例の有無、今後の対処等について

（関連して、中川義雄委員（自民）から、文教施設の子算確保のための積極的な運動展開について）

質疑、意見及び要望があり、教育庁から答弁。

# 特別委員会

## 総合開発調査特別委員会

○5月8日(火) 午後3時38分、第1委員会室  
において開議、午後3時47分  
散会

委員長 青山 章(自民)

○ 企画振興部参事監から、戦略プロジェクト  
に関して報告。

○5月21日(月) 午前10時37分、第1委員会室  
において開議、午後5時6分  
散会

委員長 青山 章(自民)

佐々木行雄委員(自民)から、(1)戦略プロジェクトの基本計画と推進計画に関し、基本計画の性格づけ、各計画の用語の概念と定義、計画の達成率などを見る場合の基準、航空宇宙産業基地や海洋開発拠点の条件づくりができれば成功と判断することの是非、計画の最終年次を仕切りの年とする見解等、(2)戦略プロジェクトの事業の点検に関し、実効性という観点から見直す考えの見解、点検の視点、点検の基本的な考え方、予算の執行のあり方等、(3)見直しとローリングの違い、戦略プロジェクトの区分の根拠、進捗状況等、(4)戦略プロジェクトと地域プロジェクトに関し、戦プロと地プロとの仕切りとその整合性、歴史を生かすまちづくりの位置づけ、海と歴史と国際性が生きる「みなみ北海道観光プラン」との整合性等、(5)海洋開発拠点に関し、海洋が慎重な執行の対象にならない理由、基本構想の推進手順、海洋開発拠点づくりの取り組み方等、(6)国際貿易、技術交流促進機構に関し、事業内容、取り組み内容、事業目的の達成、事業の見直し等、(7)コンピューター航空ネットワークに関し、構想の見直し、レポートの現状と将来計画、コンピューター航空運賃問題、(8)点検・見直しと予算執行に関し、プロジェクトの推進、戦プロの予算執行

状況、点検・見直しの結果によっての予算の減額、事業の点検等について

吉田恵悦委員(公明)から、(1)戦略プロジェクトの事業の点検・見直しに関し、今後の取り組み方、平成3年度予算編成の取り組み方、市町村並びに民間団体等への影響の認識と対応等、(2)航空宇宙産業基地構想に関し、進捗状況の認識、基本姿勢の堅持、推進方策や計画の検討、構想の取り組む姿勢等について

小野秀夫委員(民政)から、(1)戦略プロジェクトの事業の点検に関し、全事業の点検の有無、新長計審議に対しての対応、見直しを含めた点検のあり方、点検の結果の推進計画や予算編成の解釈、(2)見直しと基本計画との関連に関し、見直しの解釈、中間点検の範疇、基本計画の部分改定の見解、経済社会情勢の変化の見解、点検に関する基本的考え方と附帯意見の関係等について

本間喜代人委員(共産)から、(1)戦略プロジェクトの点検に関し、事業の見直しを含めた点検の考え方、基本構想の見直しの可能性、戦プロ事業の点検の進め方の見解等、(2)航空宇宙産業基地に関し、構想の基本計画の策定の時期、基本計画策定の遅れた理由、航空宇宙博の計画の見通し、日米交渉の結果の影響、北海道航空宇宙産業基地構想検討委員会の発言内容、委員会の中間報告の時期、構想の事業計画の決定までの手続き、委託調査の依頼先、委託調査の成果品の活用等、(3)リゾート乱開発に関し、個別事業の内容、連担都市構想自体の見直しの必要性、リゾート開発の考え方等、(4)歴史を生かすまちづくりの歴史的建造物の保存の見解等について  
質疑、意見及び要望があり、企画振興部長及び参事監から答弁。

○7月21日(土) 午前11時36分、第1委員会室  
において開議、午前11時47分  
散会

委員長 青山 章(自民)

① 企画振興部長から、平成3年度北海道開発関係予算に関する要望事項等を説明。

② 委員長から、平成3年度北海道開発関係予

算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

## 石炭対策特別委員会

○5月8日(火) 午後2時51分、第5委員会室  
において開議、午後2時57分  
散会

委員長 輪島 幸雄(社会)

- ① 商工労働観光部長から、平成2年度の基準単価及び石炭取引量の見通しについて報告。
- ② 委員長から、先に実施した現地事情調査及び中央折衝の概要について、報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 委員長から、道外調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○6月28日(木) 午後1時9分、第5委員会室  
において開議、午後1時19分  
散会

委員長 輪島 幸雄(社会)

- ① 商工労働観光部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 商工労働観光部長から、北海道鉱業振興委員会及び北海道産炭地域振興対策検討協議会の開催について説明。
- ③ 委員長から、道外調査の実施については、異議なく決定、派遣委員等については委員長に一任することとした。
- ④ 委員長から、衆議院石炭対策特別委員会の来道に伴う対応について、7月4日、札幌市において従前の例により要請することとし、出席委員については委員長に一任することをはかり、異議なく決定。

○7月21日(土) 午前11時39分、第5委員会室  
において開議、午前11時42分  
散会

委員長 輪島 幸雄(社会)

- ① 委員長から、さきを実施された産炭地域六団体連絡協議会による代表者会議及び中央折衝に委員長が出席し、配付の要望書により関

係先に要望した旨を報告。

② 委員長から、北海道石炭対策連絡会議による中央折衝の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長等に一任することとした。

③ 委員長から、北海道石炭対策連絡会議による「石炭鉱学・産炭地域を守る道民会議」及び中央大会の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

## 北方領土対策特別委員会

○5月8日(火) 午後2時55分、第3委員会室  
において開議、午後2時59分  
散会

委員長 吉野 之雄(社会)

- ① 委員長から、さきを実施した北方領土返還要求中央要請並びに国会請願の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 領対本部長から、総務庁長官の北方領土視察について報告。
- ③ 委員長から、道内調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

○6月28日(木) 午後零時7分、第3委員会室  
において開議、午後零時9分  
散会

委員長 吉野 之雄(社会)

- ① 委員長から、さきを実施した道内調査の概要について、報告書により報告、異議なく了承。
- ② 領対本部長から、平成2年度北方地域墓参について説明。

○7月21日(土) 午前11時30分、第3委員会室  
において開議、午前11時37分  
散会

委員長 吉野 之雄(社会)

- ① 領対本部長から、衆議院・沖縄及び北方問題に関する特別委員会の来道について報告。
- ② 領対本部長から、北方領土返還要求運動強

調月間の実施について説明。

- ③ 領対本部長から、平成3年度北海道開発関係予算要望事項について説明。
- ④ 委員長から、平成3年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

## エネルギー問題調査特別委員会

- 7月20日（金） 午後1時21分、第5委員会室において開議、午後1時26分散会  
委員長 中崎 昭一（自民）
- ① 委員長から、決議案第6号及び意見案第5号について、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

## 交通安全対策特別委員会

- 4月3日（火） 午後3時3分、第2委員会室において開議、午後3時13分散会  
委員長 岩田 徳弥（自民）
- ① 生活福祉部長及び警察本部交通部長から、所管事務の概要について説明。
- ② 警察本部交通部長から、交通事故の発生状況について報告。
- 5月8日（火） 午後3時18分、第2委員会室において開議、午後4時24分散会  
委員長 岩田 徳弥（自民）
- ① 委員長から、道内調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 警察本部交通部長から、ゴールデン・ウィーク期間中の交通事故の発生状況について報告。

- ③ 平井進委員（自民）から、交通安全対策に関し、運転の能力や特性に応じた具体的な教育、訓練の必要性、市街地におけるカーブ事故防止対策、西ドイツを参考とした自動車の構造上の安全対策、ヘリコプターによる救急医療体制の整備、道内の交通渋滞の実態と解消対策及び改善策、車庫とばしに対する取締り状況等

吉田英治委員（社会）から、交通安全対策に関し、交通事故防止に対する決意、北海道交通安全総合対策本部の所管事務と交通安全対策室との関係、交通安全対策室と各部等の調整の進め方、総合的な交通安全対策のために具体的に取組もうとしている運動、諸施策を効果的に進めるために交通安全対策室と警察本部との連携の必要性、救急隊員の救命技術向上への取組み、交通安全第5次5箇年計画策定にあたっての基本事項、搬送中の救急医療体制の整備についての認識、交通安全の実態把握、交通安全モニター制度の創設、運転免許失効日の通知等について質疑、意見及び要望があり、警察本部交通部長及び生活福祉部長から答弁。

- 6月28日（木） 午後零時26分、第2委員会室において開議、午後1時4分散会  
委員長 岩田 徳弥（自民）
- ① 委員長から、さきを実施した道内調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 警察本部交通部長から、上半期における交通事故発生状況について報告。
- ③ 生活福祉部長及び警察本部交通部長から、夏の交通安全運動の取組み状況について説明の後、  
五十嵐勝委員（社会）から、交通安全運動に関し、夏の交通安全運動を昨年より長期間にした理由、道警が夏の交通安全運動と連動させた交通事故抑止夏期特別作戦で新たに取組む重点対策等  
島山博委員（自民）から、違法駐車に関し、ミニパトカーの取り締まり状況等  
平井進委員（自民）から、全国の交通事故

発生状況に関し、神奈川県での死亡事故が前年対比で大幅に減少した理由等

山根泰子委員（共産）から、交通安全対策に関し、交通死亡事故の増加に伴う重傷者の実態、老人、子供の交通死亡、重傷事故の実態、交通信号機の設置要望数、設置補正予算の検討、一時停止の標識設置による対処、高齢者の交通安全対策、夜行反射材の着用による対策の現状、今年度の夜行反射材に係る予算額、夏の交通安全運動の重点対策に係る予算額等

吉田英治委員（社会）から、交通信号機に関し、信号機1基設置に要する予算、競馬事業者（原因者）の信号機設置等について質疑、意見及び要望があり、生活福祉部長及び警察本部交通部長から答弁。

## 予算特別委員会

○7月13日（金） 午後5時16分、第1委員会室において開議、午後5時26分散会

委員長 大内 良一（社会）

### 正副委員長の互選

- ① 長岡寅雄臨時委員長（社会）から、委員長互選の方法については、綿貫健輔委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって大内良一委員（社会）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法については、西本美嗣委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって平井進委員（自民）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後5時20分休憩、午後5時22分再開。休憩中協議の結果、付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、企画振興部、生活福祉部、保健環境部、人事委員会、公安委員会、出納局、監査委員及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工労働観光部、農政部、土木部、住宅都市部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことをはかり、異議なく決定。
- ④ 各分科会の委員の選出については、異議なく配付の委員名簿のとおり選出することに決定。

### ○第1分科会委員（15人）

山根 泰子（共産）	風早 俊男（民政）
佐藤 時雄（自民）	菅原 功一（自民）
西本 美嗣（社会）	吉田 恵悦（公明）
山口 恵聖（社会）	大島 一郎（社会）
大平 盛雄（社会）	国本 康夫（自民）
長岡 寅雄（社会）	岩田 徳弥（自民）
水岡 薫（自民）	久田 恭弘（自民）

○第2分科会委員（15人）

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 鯉谷 忠（社会）  | 永井 利幸（自民） |
| 和田 敬友（自民） | 大野 新生（自民） |
| 佐々木隆博（社会） | 森 敏捷（社会）  |
| 藤沢 一雄（民政） | 平井 進（自民）  |
| 綿貫 健輔（自民） | 中川 義雄（自民） |
| 浅野 俊一（公明） | 谷川 英雅（社会） |
| 神本 三也（社会） | 舟山 広治（社会） |
| 佐々木利昭（自民） |           |

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行なうことをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 付託案件の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ⑦ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑧ 委員外議員の発言の取り扱いについては、議員から発言の申し出があった場合、その都度、委員会にはかり決定することとし、発言を許可した場合は、委員の通告質疑、質問終了後に発言を許可することをはかり、異議なく決定。
- ⑨ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑩ 本委員会の運営について、正副委員長及び各分科会の正副委員長をもって構成する理事会を設置してその協議により運営すること、正副委員長の配分のない党派についても理事会に出席願うことについてはかり、異議なく決定。

第1分科会

○7月13日（金） 午後5時28分、第1委員会室において開議、午後5時36分散会

正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に西本美嗣委員（社会）、分科副委員長に菅原功一委員（自民）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明、民政及び共産各1名計5名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、佐藤時雄委員（自民）、大平盛雄委員（社会）、吉田恵悦委員（公明）、風早俊男委員（民政）及び山根泰子委員（共産）をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取り扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。

○7月16日（月） 午後1時50分、第1委員会室において開議、午後4時12分散会

第1分科委員長

西本 美嗣（社会）

- ① 公安委員会所管に対する質疑に入り、  
本間 喜代人委員（共産）から、  
産業廃棄物の不法投棄に関し、不法投棄事犯の検挙状況、不法投棄の取り締まり状況、自治体側からの通告による検挙状況、違反件数の内訳、該当する事犯のあった場合独自の捜査等を行うという受け止め方、処分の結果暴力団が関与している実態、検挙された廃棄物の種類の内訳、苫小牧市の会社の不法投棄疑惑の対応、不法投棄対策の今後の取り組み方等について  
質疑、意見及び要望があり、警察本部長及び防犯部長から答弁があって、公安委員会及び企業局所管に対する質疑を終結。
- ② 保健環境部所管に対する質疑に入り、  
山根 泰子委員（共産）から、  
(1) 札幌デイ・ケアセンターに関し、利用者数及び運営状況、運営費の内訳、診療報酬の当初収入見込及び不足分への対応、職員

の待遇の基準、職員に対する研修、音更リハビリテーションセンターとの機能面での相違、全国施設との交流状況、運営費の国費補助制度の必要性についての考え方、地域住民への施設の開放状況、社会復帰施設の整備状況及び計画、デーケア施設計画による今後の設置地域数及び地域名

- (2) 網走湖に関し、網走湖の水質汚濁の実態、水質汚濁の改善状況、水質汚濁の原因把握、環境基準値の達成状況、環境基準の評価方法、水質汚濁防止対策の今後の取り組み、公共下水道の普及状況、ゴルフ場計画凍結についての考え方、重点対策湖沼の指定についての見解
- (3) 風蓮湖の自然環境保全に関し、風蓮湖に対する認識、国定公園の指定についての見解、「すぐれた自然地域」としている別当賀川下流域とゴルフ場計画地域との関係についての認識、根室市議会のゴルフ場建設反対決議に対する認識
- (4) 狂犬病予防対策に関し、犬の登録を毎年行う必要性、未登録犬に対する指導状況、狂犬病の国内及び外国での発生状況、登録手数料を引下げることについての見解、空港等水際検疫の強化対策、狂犬病予防ワクチン改良の可能性、未登録犬の対策等について

質疑、意見及び要望があり、保健環境部長から答弁があって、保健環境部所管に対する質疑を終結。

○7月17日（火） 午前10時20分、第1委員会室において開議、午後4時25分散会  
第1分科委員長  
西本 美嗣（社会）

○ 生活福祉部所管に対する質疑に入り、

佐藤 時雄委員（自民）から、

北海道21世紀高齢社会ビジョンに関し、ビジョン策定の目的、理想的な高齢社会に至るまでの問題点及び解消対策について軽く扱ったことへの見解、産業別などの理想の姿とその方策、ビジョン策定における他部との連携、高齢者人口比率が高い地域へのビジョンの対処、町民の30%以上の高齢人口を抱えた

町における具体的施策の展開方法、現状と将来展望の間の展開見通し、高齢社会の視点、出生率低下の要素、「男女の固定的役割分担意識の解消と平等意識の啓発促進」と少産化傾向の関連、「圏域の姿」と新長計の関連、戦プロ見直し模索中にビジョンを策定した問題点、2020年代の高齢社会におけるゆとりのある労働とその方策、「公的年金制度における世代間扶養の意識を広く定着させ、制度の安定と柔軟なシステムの整備充実」の解釈及び公的年金の信頼性と安定性の確保、個人資産形成と親と子の関係や経済的自立などについての記述の考え方、老人が孤立化することへの危惧及び本文削除の必要性についての見解、経済プランの樹立や計画的な消費生活支援にかかわる行政としての取り組み、高齢者に関する保健福祉の一元的サービスの提供について国における検討内容、総合的な高齢化対策推進に向けての具体的取り組み等

永井 利幸委員（自民）から、

- (1) 消費生活協同組合法立法の趣旨に照らしたの現状認識に関し、法制定の背景及び立法の趣旨に対する現状認識、消費者が自発的に生協を組織しているかどうかについての見解
- (2) 生協に対する道のこれまでの指導に関し、地域生協の発展に伴う問題発生 of 具体的な例と道の基本的考え方
- (3) 昭和62年厚生省生活課長通知に関し、組合員の脱退、除名、新規加入の過去3カ年の状況及び睡眠組合員の実態、生協が出資している関連会社の実情、政治的な中立の原則に対する実態及び総代等の選考状況、政治をより身近なものにしようという決議をした生協名、総代の選出について定めた定款の内容、組合員の出資金の実態、新規加入組合員の出資の実態、事業区域の拡大の実態、広告等の実態、年次計画による指導の実態
- (4) 釧路市民生協白糠町出店に関し、白糠町出店計画の概要、釧路市民生協の組合員数、店舗数、供給高の現状、組合員の勧誘方法についての道の指導、生協の出店計画に対する道の基本姿勢、員外利用を含めた出店

計画に対する道の考え方、釧路市民生協における員外利用の実態、白糠町の商店街近代化事業の取り組みに対する感想、白糠町議会の出店反対決議に対する道の見解と生協への指導、昭和62年厚生省生活課長通知にかかる組合員の脱退、除名、新規加入の過去3カ年の状況及び睡眠組合員の実態、政治的な中立の原則の実態、組合員の出資金の実態、昭和62年の厚生省通知以降における新規加入者の出資の実態、事業区域の拡大の実態、広告等の実態、年次計画の指導に伴う実態、昭和52年5月24日付民生部長通知による釧路市民生協への指摘に対する結果、出店計画に対する今後の道の指導についての考え方等

風早 俊男委員（民政）から、

(1) 交通安全問題に関し、交通戦争といわれる現況に対する受けとめと重点対策、交通事故死多発の理由に対する分析及び交通事故の抑止にあたる組織体制、交通安全対策室の機能についての考え方、交通安全対策の推進についての考え方、交通事故死予測及び交通安全対策、今年の交通事故対策、車の安全性向上についての考え方、交通安全スローガンによる啓発運動の現状、救急医療ヘリコプター実用化研究の現状と実行予定、北海道の交通事故の特質についての認識及び交通安全対策の考え方

(2) サハリン地域（樺太）墓参に関し、サハリンの戦没者に対する認識、戦没者の遺族に対する援護対策、サハリンの遺骨収集事業の現状、サハリンにおける遺骨収集のメンバーと北海道関係者の有無、サハリン墓参事業の実績と本年度の墓参、今後の国におけるサハリンの遺骨収集と慰霊巡拝の見通し、サハリンにおける遺骨収集や墓参事業の今後の対応についての決意等

大橋 見委員（共産）から、

(1) 新千歳空港ビルに関し、新しいビルの建設に障害者団体の意見が取り入れられるよう働きかける考え、障害者の共同作業所の展示、即売コーナーの設置、4月20日決算特別委員会の総体質疑における本間議員への答弁についての対応状況

(2) 和光学園の民間移管に関し、和光学園の民間移管を断念する考え、先駆的、モデル的役割の意味、すべての道立施設廃止へ至る危惧、和光学園と道内の民間同種施設における卒園者と就職者の数、和光学園の就労状況の評価、関係者との話し合いの状況、全国の都道府県立精薄更正施設の整備状況、民間移管に伴う施設整備補助の内容と負担区分、国庫補助について国との協議状況及び国庫補助がない場合の対応、道立施設として施設整備を行えない理由、園生の作文に対する感想

(3) 札幌医療生協に関し、平成元年6月の生活福祉委員会における質問以降の札幌医療生協に対する指導と結果、平成元年11月の改善命令に対する実行状況、緑営バイオ及び緑営グループの実態についての掌握、生協法の趣旨及び医療生協の公益的性格から営利企業が生協を買い取り運営することの適否、昭和62年6月26日厚生省通達の趣旨に照らしての適否、生協役員の兼職に対する見解、生協総代会の適法性についての判断、組合員の在住地域、緑営グループの芦別中央病院と札幌台病院買収の事実関係の確認及び新田グループが介在する背景についての認識、今後の指導等について

質疑、意見及び要望があり、生活福祉部長から答弁があって、生活福祉部所管に対する質疑を終結。

○7月18日（水） 午前10時27分、第1委員会室において開議、午後5時26分散会

第1分科委員長

西本 美嗣（社会）

① 企画振興部所管に対する質疑に入り、

大橋 見委員（共産）から、

(1) 千歳のエアカーゴ基地構想における24時間運用の問題に関し、千歳市、苫小牧市両地域に対する道の対応、苫小牧市への請願書の提出の受けとめ方、苫小牧市の地域協議会の開催状況、千歳市議会における答弁に対する道の対応、住民の不安解消の具体策、睡眠時における航空機騒音の影響、24時間運用の見解

(2) 地価対策の問題に関し、監視区域の指定

対象市町の地価動向、リゾート地域の地価の動向、リゾート構想対象地域の監視区域指定の検討の考え方、監視区域指定の考え方、監視区域の設定のあり方、届け出の捕捉率の明示、札幌市の届け出の割合の明示、札幌市と届出対象面積の協議の取り組み方、石狩町の指定の具体的な明示、監視区域制度から逸脱するような方法の防止の措置、国からの交付金の額、届出対象面積の見直しの考え方、底地買の実態、土地取引をめぐる被害防止の取り組み、国土庁のアンケート調査の回答の内容、規制区域の指定の考え方等について

質疑、意見及び要望があり、企画振興部長及び参事監から答弁があって、企画振興部及び選挙管理委員会所管に対する質疑を終結。

② 人事委員会所管に対する質疑に入り、

山根 泰子委員（共産）から、

育児休業制度に関し、育児休業の現状、産前産後の休暇等の利用者数、新たな育児休業制度の導入の見解、制度の確立に向けて先導的な役割の考え方、国への働きかけ等について

質疑、意見及び要望があり、人事委員会事務局長から答弁があって、人事委員会所管に対する質疑を終結。

③ 出納局所管に対する質疑に入り、

本間 喜代人委員（共産）から、

指定金融機関に関し、拓銀の道内外店舗の預金と貸出金の状況、海外店の所在地、海外支店の設置月日、今後の海外支店の設置の有無、拓銀の道内中小企業者に対する貸し付けの状況、知事部局との話し合いの状況、他県の指定金融機関の状況、無担保無保証人融資の取扱状況、減少している理由、サービス業の分類、分類の根拠法令、ゴルフ場の分類、サービス業における貸し出しの伸びの原因、投機的な土地取引等に係る融資の考え方、不動産業への融資の推移、たくぎんファイナンスサービス会社概要、拓銀に対する今後の指導等について

質疑、意見及び要望があり、出納局長から答弁があって、出納局及び監査委員所管に対する質疑を終結。

④ 総務部所管に対する質疑に入り、

吉田 恵悦委員（公明）から、

(1) 道庁西地区の整備事業に関し、整備の状況、西地区複合施設の機能、道警本部庁舎の移転改築の計画の現状、今後のスケジュール、道庁西地区の整備の考え方、用地の取得の考え方、北海道婦人文化会館の跡地利用の考え方、道庁西地区の構想、対象地域、民間活力の導入方策

(2) 道有財産の問題に関し、道有地の売り払い状況、公宅の整備計画の考え方、公宅用地の高度利用

(3) 支庁庁舎の整備に関し、支庁庁舎の整備状況、今後の整備の計画、施設の文化性の導入の取り組み

(4) 国の地方医務局跡地の利用に関し、取得後の利用計画等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

○7月19日（木） 午前10時15分、第1委員会室において開議、午前11時24分閉会

第1分科委員長

西本 美嗣（社会）

① 総務部所管に対する質疑の続行、

本間 喜代人委員（共産）から、

(1) 北方領土墓参問題に関し、本年度の墓参希望者数及び実施計画の現状、希望者全員の墓参の見通し、墓参人数の制限の理由、墓参参加者の旅費の助成の考え方、国の助成制度への要望の見解

(2) 私立高校生に対する入学資金の貸付に関し、貸付の状況、所得制限の緩和の取り組み、制度の拡大の検討、貸付額の引き上げ及び手続の簡素化の検討、父母の負担の軽減の認識

(3) 道職員の健康と年次休暇に関し、職員の健康管理の現状、市町村職員との比較、長期療養者の状況、定期健診の結果の状況、健康管理の対策の考え方、がん対策の状況、年次有給休暇の利用の状況、利用率が低い理由、諸外国との比較での見解、労働省の策定した連続休暇取得促進要綱の見解、利用促進の検討の考え方

(4) 身体障害者の採用に関し、雇用状況、部局ごとの在職状況、市町村の雇用状況、視力障害者の雇用促進、各都道府県の身体障

害者特別選考試験の実施状況、特別選考試験の実施の検討等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって、総務部所管に対する質疑を終結。

- ② 付託案件に対する分科委員長報告については、分科委員長に一任することとした。

## 第 2 分 科 会

- 7 月 13 日（金） 午後 5 時 28 分、第 2 委員会室  
において開議、午後 5 時 37 分  
散会  
第 2 分科委員長  
綿貫 健輔（自民）

### 正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に綿貫健輔委員（自民）、分科副委員長に森敏捷委員（社会）をそれぞれ選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明及び民政各 1 計 4 名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、和田敬友委員（自民）、谷川英雅委員（社会）、浅野俊一委員（公明）及び藤沢一雄委員（民政）をそれぞれ選出した。
- ④ 委員外議員の発言の取り扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることに決定。

- 7 月 16 日（月） 午後 3 時 12 分、第 2 委員会室  
において開議、午後 3 時 46 分  
散会  
第 2 分科委員長  
綿貫 健輔（自民）

- 土木部所管に対する質疑に入り、

和田 敬友委員（自民）から、

治水事業に関し、これまでの治水事業の進め方及び現状、環境に対する配慮、環境に配慮した河川整備を支援する国及び道の事業制度、河川環境整備についての、道民

意識調査の取り組み及び結果、河川における生態系保全についての考え方、河川工事における生態系保全対策、河川工事における樹木伐採の考え方、生態系保全に配慮した事業及びその効果、琴似発寒河川の整備状況と今後の整備、今後の治水事業の基本的な進め方等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって、土木部、採用委員会、住宅都市部、農政部、水産部、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会所管に対する質疑を終結。

- 7 月 17 日（火） 午後 4 時 31 分、第 2 委員会室  
において開議、午後 4 時 32 分  
散会  
第 2 分科委員長  
綿貫 健輔（自民）

- 委員長より、本日の会議は、議事の都合により、散会することをはかり、異議なく決定。

- 7 月 18 日（水） 午前 10 時 52 分、第 2 委員会室  
において開議、午後 4 時 50 分  
散会  
第 2 分科委員長  
綿貫 健輔（自民）

- 商工労働観光部所管に対する質疑に入り、永井 利幸委員（自民）から、

中小小売業の振興対策に関し、中小小売業のおかれている環境とその発展のための課題に対する認識、振興策の進め方、商店街近代化事業の状況、白糠町南通り商店街近代化事業の内容、この商店街に近接した場所への釧路市民生協進出計画の動きと白糠町議会の反対決議に対する感想、生協と中小小売業者に対する税制面での優遇措置の相異、生協の地元商店街に対する影響、生協側への指導や話し合いの進め方、商店街の振興のための方策に関する考え方等

工藤 啓二委員（公明）から、

- (1) 本道の観光に関し、観光客の入り込み状況、新たに取り組む観光振興対策、接客対応、食事、施設の不備、サービスなど観光客の不満の解消策、道北圏及び道東圏の観

光振興対策についての見解、観光客の増員を図るための地方空港における増便による運航の充実の必要性

- (2) 頭脳立地に関し、構想、目的及び内容、全国的な本構想の進捗状況、本構想の今後の国の見通し、今後の取り組み方、旭川市の頭脳立地指定についての現状と工業出荷額、立地指定の今後の見通し、スケジュール及び今後の取り組み、地域内産業の計画策定等今後のスケジュール等について

質疑、意見及び要望があり、商工労働観光部長から答弁があって、商工労働観光部及び地方労働委員会所管に対する質疑を終結。

○7月19日（木） 午前10時20分、第2委員会室において開議、午前10時52分散会

第2分科委員長

綿貫 健輔（自民）

- ① 林務部所管に対する質疑に入り、

桜田 正明委員（自民）から、

森林保護事業に関し、人工林育成に対する基本的な考え方、野ネズミによる樹種別・林齢別被害発生状況及び地域別被害発生状況、野ネズミの発生予察調査の結果と今年度の発生の見通し、平成2年度の野ネズミの駆除予算の内容と予算額の見通し、国庫補助金が年々減っている理由と減額に対する取り組み、野ネズミ駆除の対象林齢を制限する理由とその考え方及び零細林家への配慮、補助対象の見直し等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって、林務部及び教育委員会所管に対する質疑を終結。

- ② 付託案件に対する分科委員長報告については、分科委員長に一任することとした。

○7月19日（木） 午後4時55分、第1委員会室において開議、午後5時7分散会

委員長 大内 良一（社会）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

- ② 委員長から、付託案件に対する意見調整は、各会派代表者会議において行うことをはかり、異議なく決定。

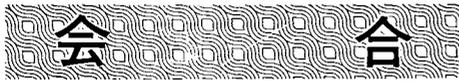
意見調整のため、午後5時休憩、午後5時2分再開。

- ③ 委員長から、各会派代表者会議における意見調整の結果、議案第1号について意見の一致を見るに至らなかった旨報告の後、山根泰子委員（共産）から反対討論の後、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決することに決定。

次に、報告第1号を問題とし、原案のとおり承認議決することをはかり、異議なく決定。

- ④ 付託案件に対する委員長報告について、委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

- ⑤ 委員長から、付託案件の審査終了に当たってあいさつがあった。



## 全国都道府県議会議長会

○5月24日(木) 全国議長会会議室において、臨時役員会を開催。本会事務総長の任期満了(6月30日)に伴う人事について(会則24条に基づき)異議なく緒方事務総長を再任することに了承。

○7月12日(木) 都道府県会館本館において、役員会を開催。下記事項について協議、決定又は了承。

1. 第95回定例総会の提出議案について  
(決議案6件、要望意見案46件)
2. 第95回定例総会の日程及び運営について
3. 議決事項の運動方法について  
(7月19日実施、正副会長及び各委員会正副委員長)
4. 役員を選任方法について  
(役員選考委員会において、候補者を選出し、理事及び監事は各ブロック又は、組合せブロックの推せん)
5. 「全国都道府県議会議長会就業規則の一部改正(案)」について  
(8月1日から隔週土曜閉庁)
6. その他  
(全国事務総長から、「梅雨前線豪雨に対する緊急要望」等について)

○7月19日(木) 都道府県会館において、第95回定例総会を開催。決議及び明年度政府予算編成に関する要望を決定するとともに、役員及び各委員会の正副委員長の改選を行った。  
(会長に宮城県議会議長を選任)

### 議案

○地方制度委員会関係

- 1 地方行財政の充実強化について
- 2 国庫補助負担率の復元について
- 3 都道府県議会議員選挙の公営拡充について

- 4 青少年の非行防止及び健全育成対策について
- 5 交通安全対策の推進について
- 6 警察力の強化について
- 7 基地対策について
- 8 国際交流の推進について
- 9 北方領土の早期返還について
- 10 竹島の領土権の確立と漁業の安全操業の確保について

○社会文教委員会関係

- 1 高齢者福祉対策の充実について
- 2 障害者福祉対策の拡充強化について
- 3 児童扶養手当の支給延長について
- 4 自治体病院等の経営健全化対策について
- 5 国民健康保健制度の安定化促進について
- 6 造血機能障害者対策の充実について
- 7 輸入食品の安全性確保について
- 8 廃棄物処理対策の推進について
- 9 環境保全対策の推進について
- 10 私立高等学校に対する生徒急減対策について
- 11 埋蔵文化財の発掘調査について

○商工労働委員会関係

- 1 中小企業振興対策について
- 2 電源地域振興のための総合的施策の確立について
- 3 原子力施設に係る安全対策等の充実強化について
- 4 石炭政策及び産炭地域振興対策について
- 5 雇用対策等の推進について

○建設運輸委員会関係

- 1 道路整備の促進について
- 2 住宅対策の推進について
- 3 下水道整備の促進について
- 4 総合的土地対策の推進について
- 5 多極分散型国土の形成促進について
- 6 地域振興対策の推進について
- 7 震災及び火山災害対策について
- 8 新幹線鉄道等の整備促進について
- 6 第三セクター鉄道会社等に対する助成措置等について
- 10 空港の整備促進等について
- 11 港湾整備事業の推進について
- 12 海岸事業の促進について

- 13 ロランC局の移管及びロランA局の継続運用について

○農林水産委員会関係

- 1 農業基本政策の強化について
- 2 水田農業確立対策について
- 3 農産物市場開放対策について
- 4 バイテク農業の開発促進について
- 5 森林・林業の活性化について
- 6 漁業振興対策について
- 7 漁業外交の充実強化について

**都道府県議会議員共済会**

○5月24日(木) 都道府県会館会議室において、**代議員会**を開催。下記事項について協議、決定。

1. 平成元年度本会決算について  
(新名茨城県議会議員(監事)監査報告の後、異議なく原案のとおり認定議決)
2. 監事の選任について  
(代議員監事として、北海道東北ブロック推せんの後藤 山形県議会議員<6月12日付>、学識経験者監事として、佐野政一氏(再選)<6月4日付>)  
なお、代議員会に先立ち理事会を開き代議員会の運営等について協議した。

**10都道府県議会議員共済会(第159回)**

○4月26日(木) 大阪市において開催し、下記の事項について協議、決定した。

1. 前回議決事項の処理結果報告(京都府)
2. 議案審議
3. 次回開催地を広島県に決定。
4. その他  
(全議事務総長から、「新行革審最終答申の概要」等について報告。)  
(議案)
  1. 造血機能障害者対策の充実について  
(東京都提出)
  2. 土地対策の推進について  
(神奈川県提出)

3. 要介護老人対策の拡充・強化について  
(静岡県提出)
4. 第8次港湾整備五箇年計画の策定と推進について  
(愛知県提出)
5. 自由時間を拡大・充実するための施策の推進について  
(京都府提出)
6. 空港整備の促進について  
(兵庫県提出)
7. 重要港湾の整備促進について  
(広島県提出)
8. 造血機能障害者対策の充実強化について  
(福岡県提出)
9. 関西国際空港全体構想の早期実現について  
(大阪府提出)

**北海道・東北6県議会議員共済会(第78回)**

○6月6日(水) 青森県において開催し、下記の事項について協議、決定した。

1. 前回議決事項の処理結果報告(秋田県)
2. 議案審議
3. 議決事項の処理方法について
4. 次回開催地を山形県に決定  
(議案)  
(地方制度委員会)
  1. 地方財政対策の強化について
  2. 北方領土問題等の解決促進について
  3. 第五次交通安全施設等整備事業五箇年計画の策定について
  4. 警察官の増員について  
(社会文教委員会)
  5. スパイクタイヤ対策について
  6. 産業廃棄物の処理対策について  
(商工労働委員会)
  7. 電源地域振興のための総合的施策の確立について
  8. 原子力施設にかかる安全対策等の充実強化について  
(建設運輸委員会)
  9. 新幹線鉄道の建設促進等について
  10. 高速自動車道等の建設促進について
  11. 第三セクター鉄道等への支援措置について
  12. 地方空港の整備と国際化について
  13. 東北インテリジェント・コスモス構想の推

進について

14. 青函インターブロック交流圏計画の推進について
15. 総合保養地域に係る公共基盤施設の整備促進について
16. 新産業都市に係る国の財政上の特別措置の延長について  
(農林水産委員会)
17. 農畜産物市場開放問題について
18. 米の輸入自由化問題について
19. 将来を展望した水田農業の確立について
20. 国際漁業等の安定対策について

# 資 料

## 第2回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道税条例の一部を改正する条例	※ 3. 31 (専決処分)	3. 31	北海道条例第15号
北海道立道民の森条例	7. 20	7. 23	北海道条例第16号
北海道職員等の旅費に関する条例等の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第17号
北海道恩給条例臨時特例等の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第18号
北海道税条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第19号
低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第20号
北海道病院事業条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第21号
北海道立和光学園設置条例を廃止する条例	同	同	北海道条例第22号

※条例第15号は、3月31日専決処分、7月20日承認議決。

## 北海道議会議員補欠選挙結果（深川市）

平田市郎議員（民政）の死去に伴う深川市北海道議会議員補欠選挙（欠員1名）は、5月25日告示され、同日、立候補届け出を締め切った結果、水野重男氏（無所属、新）以外に届け出がなく、無投票当選した。（6月5日、当選人告示）

## 4 月 の メ モ

- 1日 ○花の万博開幕 花と緑と人間生活の調和をテーマに「国際花と緑の博覧会」が大阪・鶴見緑地で開幕。2日には遊覧ボートが転落し、24人が重軽傷する事故が発生。
- 太神三井銀誕生 太陽神戸、三井の両都銀が合併、2日から営業を開始した。資金量では第一勧業銀行に次ぐ世界第二位の大銀行の誕生となった。
- 3日 ○道民生活白書発表 平成元年版道民生活白書が発表された。労働時間はやや短縮、豊かさ指標は全国21位に。
- 5日 ○邦楽普及振興協が倒産 高円宮憲仁殿下が総裁を務めている社団法人「邦楽普及振興協会」が土地売買に絡み、総額90億円の不渡り手形を出して事実上倒産。常任理事が独自で手形を振り出したが、「盗まれた手形」と文化庁に被害届を出したあと取り下げるなど経緯に不明な点がある。
- 6日 ○日米構造協議中間報告まとまる 4日間にわたったワシントンでの第4回会合で、日本側6分野、米側7分野の計13分野の改善策を盛り込んだ中間報告をまとめた。
- ①大店法の法改正②公共投資の拡充③独禁法改正など、日本側は米政府要求に、譲歩を強いられた内容となっている。
- 10日 ○スパイクタイヤ反則金制度スタート 道公安委員会の規制改正に伴い、4月10日から10月31日までは、積雪・凍結のない舗装道路では緊急車両などを除きスパイクタイヤは原則的に禁止された。違反すると、普通車6千円などの反則金が科せられる。
- 13日 ○談合の道ビルメンテナンス協会に課徴金 公正取引委員会は、官公庁の清掃委託業務にかかわる談合問題で、業界団体の北海道ビルメンテナンス協会に対し、総額1億2,596万円の課徴金の納付命令を11日行っていると発表した。
- 「新札幌パウロ病院」脱税 札幌国税局は、札幌市厚別区の老人専門病院「新札幌パウロ病院」の中山礼助院長が、3年間で2億円を越す脱税をしていたとして、所得税法違反の疑いで札幌地検に告発。
- 17日 ○永山被告の死刑確定 最高裁は東京・道内で4人を殺した「連続射殺事件」（昭和43年）の犯人、永山則夫被告の上告を棄却。同被告の死刑が確定した。
- 18日 ○新行革審が最終答申 臨時行政改革推進審議会が海部首相に提出。21世紀の高齢化時代に向け「活力ある福祉社会の建設」のための国民負担率などを打ち出した。しかし「増税なき財政再建」は姿を消し新行革審は19日、解散した。
- 秩父宮妃牌が行方不明 札幌市が保管している宮様スキー大会の賜杯・牌のうち、秩父宮妃牌が昨年3月の同大会を前に紛失した。厳重に保管していた妃牌がなぜ、どこに消えたのかはなぞに包まれている。
- 24日 ○宇宙飛行士、毛利さんに決定 宇宙開発事業団が、米国のスペースシャトルに来年9月搭乗する日本初の宇宙飛行士に、元北大助教授の毛利衛さんを充てることを決定。
- 26日 ○大手自動車ディーラー摘発 道警は、札幌市内大手自動車ディーラー社員が、客の便宜を図り、車庫証明を不正取得した疑いでこのディーラー本社などを強制捜査。「車庫とばし」といわれる売り方で摘発されたのは道内初。
- 28日 ○北洋サケ・マス漁獲枠決まる 日ソサケ・マス交渉の第6回会議がモスクワで開かれ、今年の公海での沖取り漁獲量を1万1千トン、ソ連200カイリ内では買魚を含め7千トンとすることで妥結。
- EC首脳会議、東独加入承認 欧州共同体（EC）が臨時首脳会議を開き、ドイツ統一とそれに伴う東独のEC加入を正式に承認。

## 5 月 の メ モ

- 2日 ○元年度の経常黒字30%減 大蔵省が平成元年度国際収支速報を発表。経常収支は534億9,700万ドルの黒字で、黒字幅は前年度比237億7,700万ドル、30.8%の大幅減少。
- 8日 ○五輪のベルリン招請で両独一致 西独内相と東独青年スポーツ相の会談で両独が2000年に開かれるオリンピックをベルリンに招請し、92年のバルセロナ五輪には統一チームで臨むことで一致した。
- 10日 ○公共投資5%増 大蔵省は91年度予算の概算要求基準（シーリング）について、公共事業など投資部門は、82年度予算以来ゼロからマイナスに抑えられてきたが、前年度比約5%増にあたる約3,600億円を増額する方向で検討に入った。
- 11日 ○ゴルフ場開発で道公害審査会に初の調停申請 「千歳市民の飲み水を守る連絡協議会」は、千歳市内の浄水場近くに建設中のゴルフ場開発の白紙撤回を求め、梅沢千歳市長を紛争の相手方として、道公害審査会に対し、調停の申請をした。
- 14日 ○ヘリ墜落6人死亡 札幌市の丘珠空港から飛び立った6人乗りのヘリコプターが行方不明。15日朝、札幌藻岩山山頂近くで墜落しているのが発見され、機長ら6人全員が死亡。
- 15日 ○札幌市が市街化区域全域を監視区域に 札幌市が地価高騰の歯止め策として、これまで都心と周辺部に限られていた地価監視区域を市街化区域全域に拡大することを決定。
- 24日 ○天皇陛下、「痛惜の念」表明 韓国の盧泰愚大統領が来日、宮中晩さん会で天皇陛下が、日韓の「過去」について「私は痛惜の念を禁じえません」と述べられる。海部首相も第1回首脳会談で、「謙虚に反省し、率直におわびの気持ちを申し上げます」と表明。
- 28日 ○サハリン在住日本人が里帰り 終戦時に

サハリンに残ったまま帰国できなかった12人が、45年ぶりに祖国の土を踏んだ。このうち11人は本道ゆかりの人。

- 29日 ○エリツィン氏が議長に ソ連・ロシア共和国の最高会議議長のやり直し選挙が行われ、急進派のリーダー、ボリス・エリツィン氏が当選した。
- 強制連行者の名簿を調査 政府は盧泰愚韓国大統領に提出を求められた戦前の朝鮮人強制連行者の名簿を調査する方針を確認した。
- 30日 ○JR 7社、決算で明暗 JR 7社の3月期決算がそろって発表され、東日本、東海は91年度の株式上場が可能になるほどの好決算だったのに対し、北海道、四国、九州は営業赤字が続くなど、本州と他地域との格差が目立った。
- 31日 ○漁船だ捕事件で捜査 日本人漁船員多数が乗った朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）船籍の漁船12隻がソ連にだ捕された事件は、公海上でのサケ・マス漁を禁止したソ連、北朝鮮漁業協定に、北朝鮮側が違反した疑いが強まった。海上保安庁は無許可で12隻の漁船を北朝鮮側に貸与した船主らを海上運送法違反容疑で捜査。

## 6 月 の メ モ

- 6日 ○道、全国初の観光立県宣言 横路知事は網走市内で開かれた道観光立県推進地方会議で、本道観光の新たな飛躍を目指し、全国初の観光立県宣言である「北海道観光宣言」を行った。
- 9日 ○女性1人あたりの平均出産数、過去最低に 厚生省の調査で、1人の女性が生涯に平均して何人の子供を産むかを示す「合計特殊出生率」は昨年、1.57人になった。66年の1.58人を下回り、統計をとり始めて以来の最低となった。
- 10日 ○ペルー大統領にフジモリ氏当選 中道の「カンビオ(変革)90」から立候補した日系2世のアルベルト・フジモリ前国立農科大学長(51)が、保守系「民主戦線」から立った著名作家マリオ・バルガスリョサ氏(54)に大差をつけて当選した。
- 14日 ○教会近接のマンション建設を断念 大手業者の大京(本社・東京)が函館の国指定重要文化財、ハリストス正教会そばに建設を計画していた分譲マンションについて、木戸浦市長の中止要請を受け入れ、断念する意向を表明した。
- 個人貯蓄700兆円超す 日銀の平成元年度個人貯蓄情報によると、平成2年3月末の預貯金、公社債、保険など個人貯蓄総額は、713兆5,429億円で前年同期比11.2%の増。
- 18日 ○メキシコに1,210億円供与 海部首相がメキシコのデゴルタリ大統領と会談、大気汚染対策プロジェクトなどに、総額1,210億円の円借款供与、輸銀融資を表明した。
- 19日 ○GNP高い伸び 経済企画庁が平成2年1-3月期の国民所得統計速報を発表。GNPの実質経済成長率は前期比2.5%、年率換算では10.4%の高い伸びを記録。元年度の実質経済成長率は5.0%と、3年連続で5%台の成長を達成する。
- 20日 ○シベリア抑留でシンポ 第2次大戦後、旧日本軍将兵らがソ連で強制労働させられたシベリア抑留問題をめぐる初の日ソ合同シンポジウムが東京で開かれた。ソ連側は「54万6,086人がソ連領に送られ、うち6万2,068人がソ連で死亡した」と初めて公式に数字を明らかにした。
- 26日 ○景気拡大43か月「岩戸」抜く 経企庁の6月の月例経済報告で景気拡大期間が43か月に。「岩戸景気」を1か月抜き「いざなぎ景気」(57か月)に次ぐ戦後2番目の記録となった。
- 車庫法改正案が成立 違法駐車の一掃をねらった道路交通法と自動車の保管場所の確保等に関する法律(車庫法)改正案が参院で成立。道交法は来年1月、車庫法は同7月施行。
- 27日 ○津別町の国有林が「ヒューマン・グリーン・プラン」に 道営林局は網走管内津別町の国有林を林野庁が推進している「ヒューマン・グリーン・プラン」に地域指定することに決定。計画面積は、1,843ヘクタールで、スキー場を核に大規模なリゾート基地を目指す。
- 29日 ○第2回定例道議会開会
- 礼宮・紀子さま結婚の儀 天皇家の次男、礼宮さまと学習院大大学院生、川嶋紀子さまの結婚の儀が皇居で行われた。礼宮さまは「秋篠宮」の宮号を贈られた。

## 7 月 の メ モ

- 1日 ○東ドイツが経済統合 ドイツ統一の実質的の第1歩として、両独の経済統合が実現した。西独マルクが唯一の通貨となり、東独では約1万カ所で西独マルクの引き出しが始まった。両独国境の検問を廃止する協定も調印された。
- 2日 ○本道とグアム・サイパンの直行便が就航 米国コンチネンタル航空の新千歳ーグアム・サイパン線が開設され、乗客237人を乗せ、1番機が新千歳空港を飛び立った。グアムまでの所要時間は片道5時間半。
- 4日 ○ラムサール条約国会議93年釧路開催決定 スイス・モントルーで開かれていたラムサール条約（水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）の締結国会議の最終日に正式決定。
- 6日 ○生産者米価1.5%下げ 本年産米の政府買い入れ価格（生産者米価）は政府・自民党の事前折衝で1.5%下げと決定。これに強く反発した米価審議会は賛否四論併記の異例の答申となったが、6日の閣議で諮問通りの決定となった。
- 9日 ○テープ押収は合憲 暴力団の債権取り立て現場を収録したビデオテープを警視庁に押収されたTBSが、押収処分取り消しを求めて申し立てた特別抗告に対し、最高裁は棄却する決定を下した。
- 20日 ◎第2回定例道議会閉会
- トヨタ苫小牧工場、92年秋に操業 トヨタ自動車（本社・愛知県豊田市）は先に用地取得を内定していた苫小牧西港臨海部に、変速機とアルミホイール部品を中心とした工場を来春着工し、従業員700人規模で92年秋に操業開始すると正式発表した。用地取得費を含めた総投資額は約1千億円。
  - 「土屋・木内すい星」発見 旭川市の公務員土屋清さん（58）が、上川管内当麻町の自家観測所から獵犬座と髪の毛座の境界付近を南西に移動する新しい星を撮影、米国の国際天文台連合から「今年世界で9番目に発見された新しい星」と認定された。道内のアマチュアの新しい星発見は初めて。
- 25日 ○旭富士が横綱に 大相模名古屋場所において、東大関旭富士は14勝1敗の成績で2場所連続3度目の優勝を果たし、第63代横綱昇進が決まる。
- 31日 ○大口投資家に損失補てん 昭和62年秋のブラックマンデーで、証券会社が自社の売買損を装い、大口投資家に損失を補てんしていたことがわかり、東京国税局は、山一証券など証券14社に対し160億円の申告漏れがあったとして総額80億円の追徴課税。

北海道議会時報 第42巻第2号  
平成2年10月22日発行

編集 北海道議会事務局調査課  
発行 北海道議会事務局

北海道議会時報第42巻第2号(平成元年第2回定例会)